

紅 萌

京都大学広報誌 ● くれなゐもゆる

東アジア人文情報学研究中心
1930年に竣工。設計者は武田五一
と東畑謙三。濱田耕作文学部教授
(のちの京大総長) 発案のスペイン
僧院を模したロマネスク風のデザ
イン。柱部分の虫食い状の小穴を
有する灰色の石材は、武田により
発見された沖縄産石材「宇留間石
(琉球トラバーチン)」。館内のいた
るところに武田の指示で東畑が作
成したこだわりのゴシック・デザ
インのブロンズ装飾が配されている。
建物内部は非公開



私を変えた、
あの人、
あの言葉

一晩の寿司の恩がひきよせた出会い

多田朋孔

十日町市地域おこし実行委員会
事務局長

私が京都大学を受験しようと考えたのは、高校時代のサッカー部の友人の存在が大きかった。彼はかなりぶっ飛んだ頭脳をもっており、エントロピーの話などを延々と聞かされたことをいまでも覚えていて。彼は京都大学理学部に合格したが、受験が終わったときの彼の名言が、「これでほんとうの勉強ができる」だった。

私は神戸大学を受験したが不合格となり、浪人をした。浪人になったのだから死ぬ気で勉強を頑張ってみようと考えた。家から通える範囲で、いわゆるもともと難しい大学をめざせば、どこかの大学には通るだろうと考えたのと、身近な友人が合格したことから京都大学を第一志望に定めた。そして一年後、無事に合格した。

大学に入って華やかなキャンパスライフを思い描いた私は、冒頭の友人の言っていた「応援団の新歓コンパはおもしろかったぞ」という言葉を思い出し、入団する気はまったくなかったが応援団の新人歓迎の飲み会に参加した。その後、「練習に見学に来いよ」と誘われた。義理で練習に参加したら、練習後には「ごっつあん」といって先輩に夕食をおごってもらえる仕組みになっており、

寿司をおごってもらった。後日、一緒に練習を見学した同じクラスの友人から、「応援団の先輩が『多田には寿司をおごったから入れなアカン』って言ってたよ」と聞き、ずるずると入団した。たった一晩の寿司の恩で四年間の青春を応援団に捧げた。

応援団は「飲み」が激しく、下級生はほぼかならずつぶされてきた。このような風習に対する反発もあってか、私が一回生のとき、応援団からチアリーダー部が分裂するという騒動があった。結局は一年上の先輩と同級生の二名を残してほかのチアリーダー部員は応援団を辞め、応援団員は激減した。しかし、私が二回生のときの団長をはじめとする幹部陣がかなりエネルギーがたまって、その年の新入生は二〇名以上入団した。厳しい応援団生活に半分以上が辞めてしまったが、応援団存続の危機は回避され、現在も二〇名を超える団員を維持している。

私は大学卒業後にコンサルティング会社勤務を経て、二〇一〇年二月に地域おこ



◎ただ・ともよし
1978年、大阪市に生まれる。京都大学文学部卒業。第44代京都大学応援団団長を務める。2010年2月から総務省の「地域おこし協力隊」の制度を活用し、妻子を連れて十日町市池谷集落に移住。現在は、特定非営利活動法人十日町市地域おこし実行委員会の事務局長を務め、十日町市全域の中山間地を活性化する事業に取り組んでいる。

し協力隊として、新潟県十日町市の池谷集落という当時六世帯二三名の山間地の限界集落に妻子を連れて移り住んだ。人口減少社会に突入した日本で、大自然の残るこの過疎の集落から、新しい文明のあり方を模索できないかと考えたからだ。大量生産・大量消費で次世代にツケを残すような社会を、持続可能な社会に変えたい。人生をこの取り組みに捧げるといふ思いで協力隊に参加し、三年の任期終了後も池谷集落に住みながら、地域おこしの取り組みをつづけている。いまでは池谷集落は八世帯二〇名で、そのうち子どもが四名となり、限界集落を脱出した日本でも珍しい集落となった。さらに妻のお腹の中に三人めの子どもがいて、集落はますます若返ってきているのだが、じつは、この妻との出会いも応援団だった。チアリーダー部分裂のさいに応援団に残った同級生が妻である。

◎目次

- 2 巻頭エッセイ 私を変えた、あの人、あの言葉
一晩の寿司の恩がひきよせた出会い 多田朋孔
- 3 巻頭鼎談
文武両道の魂、
いまだ健全なり京大体育会
ゲスト 竹内亜弥＋神崎範之
ホスト 寶馨
- 8 研究の最前線
アフリカの人びとから
他者とのつきあいかたを学ぶ
ケニア西部に住むトゥルカナと難民 太田至
- 12 邁進・京大スピリット——学生たちの活躍
カヌー部／グリークラブ／
河勝雅行／山口絵美菜
- 14 授業に潜入！「おもしろ学問」講義録
「眠れない」はあなどれない
増加する睡眠障害に悩む人びと 若村智子
- 18 ふりかえれば未来——モノ語る京大の歴史
地下に埋もれた鉱物標本が
光を放ち語り出すとき 下林典正
- 21 京都大学をささえる人びと
吹き抜ける書庫に蓄えられた
東方学の智 秋本好治＋村田康彦
- 22 京都大学の動き
追憶の京大道通
- 24 豊潤な時間が育んでくれたもの 潮江宏三

紅 萌

くれなゐもゆる

京都大学広報誌

2015
第28号

文武両道の魂、 いまだ健全なり 京大体育会

囲碁棋士、作家、芸能人に、ミュージシャン。学業以外の分野で活躍する卒業生が目にとまるこの3人。かといってオリンピックでかつて金銀を独占したこともある京都大学体育会の伝統が廃れたわけではない。農学部グラウンドの一角に復活した二代めオリンピック・オーク*のように、京大には若人のパワーが満ちている。学業優先の制約のなかで、ひたむきに研鑽を積むアスリートたちがそこにいる。山極壽一総長が求める「ワールドでワイズな学生」だ。「これしかない」では、人生楽しくないではないか

*22ページ参照



巻頭 鼎談

ホスト

● 寶馨

防災研究所 所長
硬式野球部 部長

ゲスト

● 竹内亜弥

ラグビー女子セvens日本代表
ARUKAS QUEEN KINAGAWA 主将

● 神崎範之

サントリー健康科学研究所研究員
元フィギュアスケーター

● 寶たから 京都大学から初のプロ野球選手が
出ました。関西学生リーグで8勝をあ
げた田中英祐くんですが、学生野球は
強豪ぞろいで、田中のような投手がい
ないと京大はなかなか勝てない。弱い
なりに練習をくふうしておりまして、
きょうは世界レベルのお二人のお話
を参考にしたいと思っています。(笑)

神崎さんは食品生物科学科がある
から京都大学を選ばれたとか。

● 神崎 そうです、フィギュアスケートをつづけるなかで、「栄養管理も自分でできれば」と農学部の食品生物科学科で学びました。現役を引退したいまはサントリーウエルネス株式会社で健康食品の研究開発をしています。休日はスケートの国際審判員として活動しています。

● 竹内 私は体育の教師になるのが夢でしたが、いろいろな選択肢のある総合大学で学びたいと思いました。というのも、高校の地理の先生が京大のサイクリング部の出身で、体験をまじえて教えてくださる授業が大好きでした。あんな先生になりたいなという憧れから京都大学を選びましたが、欲張りでもあったんですね。(笑)

● 寶 大学では、バレーボール部ですね。
● 竹内 ええ。大学を卒業してから「セブ

決まります。

寶 ●相手チームの研究はされるのですか。

竹内 ●一か月くらい前から、相手チームの映像を見て選手どうして話しあいます。でも、日本人は体が小さくて足が遅い。だから、どのチームと対戦しても基本的な戦術はあまり変わらないのです。つねに数的有利をつくれるよう、相手を疲れさせる試合をするように徹しています。

神崎 ●対戦するゲームだと相手を攻略する研究は必要でしょうね。フィギュアだと、ほかの選手の優れた技術を研究して自分の演技にいかす。

寶 ●技を学ぶことはあっても、相手に勝つための研究はないのですね。

神崎 ●自分がいかに完璧な演技をするかに集中することがだいじです。相手にあわせて戦術を変えることもあまりしない。ですから、試合前は他人の演技は見ません。音楽を聞いたりして集中するのですが、それでも歓声は聞こえます。直前の選手がよい演技をして、観客席から花束が舞うのを見ると動揺もしますから。(笑)

竹内 ●ライバルが失敗したら、安全策をとったりするのですか。

神崎 ●私はしなかつたです。ただ、自分の調子によって、演技構成を変えることはあります。

寶 ●自分のベストを追求してトップになればよいし、相手が上なら順位が落ちてもしかたがないと。

京大のフィギュアスケート部には入っていませんが。

神崎 ●入っていましたが、部活動にはあまり参加できませんでした。大学に入ってからスケートをはじめた部員のなかで練習するのはむずかしかった。でも、部員とは仲がよかつたし、京大フィギュアスケート部を背負っている意識はありました。

寶 ●大学対抗の団体戦もあるのですか。

神崎 ●国公立大学フリースケーティング競技会には毎年出場して、毎年優勝していました。個人の成績を合計して団体の得点となるのですが、私もポイントを稼いでいたので、部には貢献できていたと思います。(笑)

京大チームは人一倍、競技の研究をします。大学からはじめたのに二回転を跳んだり、三回転を跳ぶ方までいる。それに、攻めの演技をするからポイントも高かつた。

京大は新生生の勧誘に力を入れていて、ほかの大学よりも人数が多かつたですね。勧誘でスケートリンクに連れていく。まったくのゼロからですが、すこし教えればひょうたん滑りやターンができるようになる。いっきにハマる学生が毎年いました。

神崎 ●入っていましたが、部活動にはあまり参加できませんでした。大学に入ってからスケートをはじめた部員のなかで練習するのはむずかしかった。でも、部員とは仲がよかつたし、京大フィギュアスケート部を背負っている意識はありました。

寶 ●大学対抗の団体戦もあるのですか。

神崎 ●国公立大学フリースケーティング競技会には毎年出場して、毎年優勝していました。個人の成績を合計して団体の得点となるのですが、私もポイントを稼いでいたので、部には貢献できていたと思います。(笑)

京大チームは人一倍、競技の研究をします。大学からはじめたのに二回転を跳んだり、三回転を跳ぶ方までいる。それに、攻めの演技をするからポイントも高かつた。

京大は新生生の勧誘に力を入れていて、ほかの大学よりも人数が多かつたですね。勧誘でスケートリンクに連れていく。まったくのゼロからですが、すこし教えればひょうたん滑りやターンができるようになる。いっきにハマる学生が毎年いました。

神崎 ●入っていましたが、部活動にはあまり参加できませんでした。大学に入ってからスケートをはじめた部員のなかで練習するのはむずかしかった。でも、部員とは仲がよかつたし、京大フィギュアスケート部を背負っている意識はありました。

寶 ●大学との両立はどうでしたか。

竹内 ●そんなにまじめな学生ではなかつたので……。(笑)でも、卒論は書きました。文学部で純粹哲学が専修だったので、体育の教員免許をとる授業も聴講していたので、「遊びと体育教育」というテーマで書きましたが、学業との「両立」を意識したことはなかつたですね。

神崎 ●私は、一、二回生のころは空き時間を夕方につくって練習に行っていました。三回生からは午後はほぼ毎日が実験。とにかく早く終わらせて練習に行っていました。

竹内 ●バレー部の先輩に農学部の方がいて、「培養している菌が増えなくて練習に行けません」というメールがよく届いていました。(笑)

神崎 ●生物系は実験に時間がかかる。夜中も見張っていないといけないとかね。しかも、私は六地藏駅近くの醍醐スケートで練習していましたが、四回生のときにそこが廃業してからは、練習場の確保がたいへんでした。大学院一回生のときには大阪府中部の柏原市まで通うことになってしまった。九時から五時まで実験をしたあと、二時間かけて……一日に一〇〇キロくらい運転する毎日でした。

寶 ●先輩・後輩や他学部の人たちとのつながりはどうですか。

竹内 ●京大のバレー部は、半分が初心者です。競技人口が多いにもかかわらず、バレーボールに触ったことがない人も入ってくる。そのメンバーで、中高からつづけている私立大学の選手と戦わなければならない。

授業終わるまで100キロ運転する毎日



第2回京都フィギュアスケートフェスティバルで、「オペラ座の怪人」を演じた。大学院1回生のころ



ず、バレーボールに触ったことがない人も入ってくる。そのメンバーで、中高からつづけている私立大学の選手と戦わなければならない。

初心者の部員にスパイクもトスも教えていては時間が足りない。「この人はレシーブだけ」と得意分野を決めて教えました。バレーボールはローテーションがありますが、私はスパイクが得意なので、「前からでも後ろからでもどこからでも打つ！」と。(笑)

バレー部には引退された修士課程の男子の先輩が女子バレー部にコーチにきてくださる伝統があります。これにはほんとうに助けられました。

神崎 ●生物系は実験に時間がかかる。夜中も見張っていないといけないとかね。しかも、私は六地藏駅近くの醍醐スケートで練習していましたが、四回生のときにそこが廃業してからは、練習場の確保がたいへんでした。大学院一回生のときには大阪府中部の柏原市まで通うことになってしまった。九時から五時まで実験をしたあと、二時間かけて……一日に一〇〇キロくらい運転する毎日でした。

寶 ●ことしは七月四日に野球部の東大戦を吉田グラウンドで行ないました。バレー部も同じ日に東大戦だったように、試合後に東大・京大の懇親会を吉田南食堂でしていると、一階がバレー部で二階が野球部。(笑)

バレーは、男子は負けて女子は勝つたと聞きました。野球部は、東京六

同じ台所事情に 共感しあえる東大との縁

寶 ●ことしは七月四日に野球部の東大戦を吉田グラウンドで行ないました。バレー部も同じ日に東大戦だったように、試合後に東大・京大の懇親会を吉田南食堂でしていると、一階がバレー部で二階が野球部。(笑)

バレーは、男子は負けて女子は勝つたと聞きました。野球部は、東京六

かんざき・のりゆき 1982年、名古屋市に生まれる。京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻修士課程修了後、サントリー健康科学研究所に入所。現在は、研究員としての仕事のかたわら、フィギュアスケートのグランプリシリーズなどの国際大会や全日本選手権をはじめとする国内大会で技術審判員を務める。(公財)日本スケート連盟の強化部にも所属し、ルールの観点から選手たちにアドバイスをしている。現役時代は、国際大会である2005年ネーベルホルン杯2位、第75回全日本フィギュアスケート選手権で4位の成績をおさめた。

学野球で九四連敗していた東大に二対〇で負けました。

神崎 ●ニュースになっていましたね。

寶 ●ここ三年は京大が勝っていたのですが、こっちはボロ負けでした。

竹内 ●東大の人たちとはふしぎな縁ができます。たぶん初心者が多いという同じ台所事情からでしょうね。東大の同期とは、「互いに四年間よく支えたね」という仲間意識が芽生えて……。

寶 ●京大の女子学生の割合は二割ほどだから、女子スポーツはたいへんですね。

竹内 ●しかも、スポーツ経験のある子が少ないのです。先輩が引退したり同期が辞めたりで、部員が二人のときもあつたんですよ。

寶 ●野球部は今年も二〇人くらい入ってくれましたが、私の時代は各学年五人ずつくらいで、四回生が引退すれば紅白戦もできなかった。

OB会の支援は部活運営の命綱

寶 ●今年五月の末から、京大基金のもとに「京大硬式野球部支援基金」を発足させました。寄付を一般の方からも募るシステムです。ふだんはOB会が支援していますが、連盟の負担金や道具代がけっこうかさむ。フィギュアスケートもお金がかかるのでしようね。

神崎 ●すごくかかります。親にどう恩返しするかなと……。(笑)

フィギュアスケート部にもOB会があつて、会費を集めています。私はOB会の広報係を務めていて、会計の人を含めた幹事で「どうしたらうまく

集められるか」をよく議論するのですが、やはり集まりはよくない。(笑)

遠征費用は、OB会費から少し捻出されています。ふだんの練習でもスケートリンクの貸し切り代が一時間二万円くらいかかりますからOB会が少し補助しています。スケート靴もブレードをあわせると一〇万円くらいですが、それはアルバイトでまかなっているようです。

寶 ●コスチュームはどうするのですか。

神崎 ●自分たちで裁縫します。先輩から譲り受けたものも使います。私もコスチュームや靴は部に寄付しました。

寶 ●海外遠征費はたいへんですね。

神崎 ●日本スケート連盟から出ることもありますが、両親に感謝です。それでも最後のシーズンは賞金を稼いでいたのです。

竹内 ●バレーボールは、靴さえあればよいスポーツです。(笑) それでもコーチの交通費や外部の体育館の使用料はかさみますから、やはりOB会に。

寶 ●アメリカのスポーツは道具がたくさんいる。野球もアメフトも、アイスホッケーもそうでしょう。

竹内 ●そう考えると、アメフトではなくラグビーでよかった。スパイクとマウスピースがあればいい。(笑)

ついでに「神だのめ」

寶 ●私はね、携帯電話に吉田神社の勝守をつけているんですよ。

竹内 ●吉田神社に勝守があるん



ツなので死ぬかもしれない。「見納め」というくらい几帳面に整える人もいます。

ですか。

寶 ●毎年お正月に吉田神社に選手たちと必勝祈願に行っています。こういう験をかつぐことはありますか。

竹内 ●黄色いスパイクを履くようにしています。

寶 ●黄色いスパイクですか。なぜでしょう。

竹内 ●代表監督に認められた試合で履いていたのが黄色いスパイクで、「黄色いスパイクの子、だれ？ 来週の代表合宿からきて」と。そのときの気持ちを忘れないように。

寶 ●「幸せの黄色いスパイク」。(笑)

神崎 ●私は、願いごとを書いた紙を入れておけば叶うという「願いがかなうボックス」を枕元に置いていました。その願いはかないましたね。

寶 ●勝負には、「これをしているから、だいたいぶ」とすがりたくなるときはありますよね。

神崎 ●願いにむかって努力している気持ちを意識させる物や事がだいじかもしれない。

竹内 ●験かつぎではないのですが、私は試合当日の朝、荷物をキチンと整えてから部屋を出ます。脳しんとうで倒れることもありますから、だれかが私の荷物をあけたときにグチャグチャだったら恥づかしいということもあります。それに、ラグビーは危ないスポーツなので死ぬかもしれない。「見納め」というくらい几帳面に整える人もいます。

学生の活躍 ※1980年以降の成績

| 部活 | 優勝年 | 大会(種目) | 出場者 |
|--------------|------------------|-------------------------------|-------|
| アメリカンフットボール部 | 1983年から1996年まで7回 | 甲子園ボウル 学生王座決定戦 | 団体 |
| | 1983年から1995年まで4回 | ライスポウル 日本選手権 | 団体 |
| 居合道部 | 2001/2006 / 2009 | 全日本学生居合道大会 | 団体 |
| ウィンドサーフィン部 | 1994 | インカレ個人戦 | 後藤 恵 |
| | 2003 | 国民体育大会 | 宮本直和 |
| | 2005 | National Team 選考 | 大西富士子 |
| | 2010 | National Team 選考 | 原 彩葉 |
| カヌー部 | 2013, 2014 | インカレ団体戦 | 団体 |
| | 1982 | 全日本選手権大会(10,000m) | ヘア |
| 自転車競技部 | 2001 | 全日本大学対抗選手権(ロードレース) | 小嶋洋介 |
| フィギュアスケート部 | 2011 | 国公立大学フリースケーティング競技会 | 団体 |
| フェンシング部 | 2003~2011 | 全国国公立フェンシング選手権大会 | 団体 |
| ボート部 | 1998 | 全日本大学選手権(男子舵手つきペア) | ヘア |
| | 2006 | 全日本選手権(男子舵手つきペア) | ヘア |
| ヨット部 | 1982 | 全日本インカレ | スナイブ |
| | 1990 | | 青井 真 |
| ライフル射撃部 | 1994 | 全日本学生選手権大会 | 和泉卓也 |
| | | | 団体 |
| 陸上競技部 | 1988 | 日本インカレ(三段跳) | 月山敦詞 |
| | 2003 | 日本インカレ(10,000m競歩) | 杉本明洋 |
| | 2014 | 日本学生陸上競技対校選手権大会(800m) | 櫻井大介 |
| バーベル部 | 2014 | 日本ジュニアボディビル選手権 | 河勝雅行 |
| | | 関西学生ボディビル選手権 全日本学生ボディビル選手権 | |

そういうかたちでスイッチを入れているのかもしれない。

よき指導者との出会いは 人生の財産

寶 ●ところで、挫折しかけたり、逆境から学んだことはありますか。

竹内 ●バレー部時代、同期がどんどん辞めていくなかで、「なんでやろう」と悩んだ時期がありました。ふと、「人の気持ちは変えられないんだ」と気がついた。人の気持ちを变えるくらいなら、自分の行動や気持ちを変えられるほうが何百倍もかんだんだと気づいてから、よい意味で人に期待しすぎなくなつたし、自分の独善を押しつけることもなくなりました。一言でいうと、

漠然と悩まなくなりました。

寶 ●いまのチームのなかでは年輩だとのことですが、そういう態度は若い人たちには頼もしいのではないですか。

竹内 ●子どものころからラグビーをしてる女子選手は、部活動を経験せずに男子チームで練習して代表に入ってくる人が多いですね。競技歴も長く、私が教えてもらうこともあるのですが、人間としての成長は年齢が上の仲間が支えなければいけない。代表チームはメンバーも入れ替わるし、10歳以上歳の離れた人もいますが、どこか部活的なところもありますね。

寶 ●指導者や指導的役割の面で、学んだことはありますか。

神崎 ●宮原知子選手を教えている濱田美栄コーチにずっと教わっていたのですが、小さいころの私は不真面目で、反発もしていました。浪人して一年間ブランクがあったのですが、それでも日本スケート連盟の強化選手に選ばれるまでに調子を戻したのです。ところが、二回生で右足首の靭帯を切って半年を棒に振りました。二回生は授業もあまりなかったし、遊びたい思いもありましたから気の緩みがあったのでしょうか。そのケガをきっかけに、コーチの指示をしっかり聞いてスケートに没頭するようになりました。

寶 ●指導者との出会いは、自らが指導者になるうえでたいせつですね。

神崎 ●濱田コーチとはいまも仲よくさせてもらっているのですが、審判員をする私の姿を見て、「きみが審判員になる

とは思わなかった」と言われます。(笑)とにかく、指導者との出会いはだいじです。

竹内 ●つい先日、ニュージージーランドの女子代表のコーチがスポット・コーチとしてチームにきてくださったのですよ。以前は、「パスはこう」、「こういうときはこういう判断を」とスキルを教えてもらったのですが、今回は「大会の戦い方」。ゲームの反省会のさい、私たちはついつい、「このプレーはこうだったね」と小さなミスや判断をふり返っていたのです。ところがそのコーチは、小さなミスは「アンラッキー」で片づけた。ただし、めざすラグビーに反する行為は、たとえプレーが前進しても、「ダメ！」という教え方だった。

寶 ●なるほどね。

竹内 ●「プレーを大きくみる」ことを教えてもらった。パスやタックルなど個別の技術の教え方がうまい人はいるのですが、「ラグビーを教えてもらった」はじめての体験でした。

なにかをはじめた瞬間に「もう遅い」はない

寶 ●最近の大学教育は、授業にはきちんとは出さないという時代です。(笑)「サボったらいじゃないか」という雰囲気から、いまは文武両道、両立が基本です。学生はそのなかで、早朝や授業後の時間をうまく活用するようになりました。野球部も、去年九月に松本紘前総長がグラウンドに照明をつけてくださったので、夜も九時まで練習

3回生のころ。応援団とのマラソン大会



できるようなったのです。それで、自主練習の時間をより多くとれるようになりました。練習にさける時間が一人ひとり違うから自主練習は重要で、自分の弱点を補う、長所を伸ばすことに自発的に取り組める。

そうだったいま、やはり上をめざさねば、と部員全体が考えるようになって。トップクラスの大学にも負けないぞという選手の自覚もすごいし、OBの支援もある。すごくまじめになった感がある。そういう後輩たちに先輩としてひとことだけ伝えたいと思います。

竹内 ●京大に入ることになって、なにかを諦める必要はないし、卒業してから楽しいなにかに出合える可能性もあります。「もう遅い」ということはほとんどにラッキーです。私はラグビーをすることになるなんて思ってもいなかったし、ちょっと変則的な競技人生を送っていると思います。でも、オリンピック予選が近づいてきているので、緊張感が高まっています。大会の結果はそれまでの準備で決まる。一日一日がオリンピック予選だと思っ

ています。

神崎 ●文武両道とよく言われますが、スケートも勉強も、意識していたのは、「いかに集中するか」。それぞれのことに集中してとりくまないと時間がかかって、もう一つのことができない。集中することが、私を高めるうえで助けになりました。

寶 ●スポーツにかぎらず、やり損ねたこと、やってみようがあるなら飛び込んでみる。上達しようがしまいが、興味をもったというの是一种の啓示、ひらめきです。まだまだ若い無限の可能性がある。「自分にはできないのは」と思うのはもったいない。「京都大学に入学できるほどの人であれば、体力、技量的にはむずかしくても、ちがう面でくふうできる可能性がある。やりたいことがあったら行動を起こすべきです。チャレンジのない学生生活なんてつまらないですからね。

きょうは、暑いなか、どうもありがとうございました。

二〇二五年七月一九日(日)
京都大学百周年時計台記念館一階
「大学文書館長室」にて

たから・かおる 1957年、滋賀県に生まれる。京都大学工学部土木工学科卒業、同大学院工学研究科修士課程修了。京都大学工学部助手、岐阜大学工学部助教授、京都大学防災研究所助教授を経て、1998年から教授、2015年から防災研究所長。学生時代は京都大学硬式野球部に所属。過去には、硬式野球部のコーチ、監督、部長、関西学生野球連盟の審判委員、副会長を歴任。2015年度からは監督を退任し、部長を務める。昨年、田中英祐選手がドラフト会議で2位指名されたさいには時計台記念館での記者会見に同席した。

京都大学におけるアフリカ研究の祖である今西錦司やおなじく霊長類研究で偉大な功績をのこした伊谷純一郎たちは、フィールドで類人猿の調査をするかたわら、その土地に暮らす人びとの営みにも目をむけた。伊谷研究室で教えを受けた太田至教授は、偉大な先人たちの流れを継いで、研究対象を(人間)に定めた。牧畜社会における家畜と人間との関係を解明してきた太田教授がアフリカを歩いて学んだのは、アフリカの人びとが蓄積し、運用してきた在来の知恵。紛争や病気、貧困などの課題に直面するアフリカは、その解決策を西欧の制度や価値観のなかに見出そうとしている。しかし、人びとの暮らしとともに成熟してきた知識や制度にこそ、紛争と共生の課題を解決するヒントがあるのではないか。太田教授はアフリカの人びとに密接によりそいながらこうした知恵を活用する道を探ろうとしている

研究の
最前線

大学院アジア・アフリカ地域研究資料センター
アフリカ地域研究資料センター

アフリカの人びとから
他者とのつきあいかたを学ぶ
ケニア北西部に住むトゥルカナと難民

太田至
教授

わたしたちのまわりには「アフリカ大陸」に関するネガティブなイメージが氾濫しています。新聞やテレビでは、旱魃や大洪水、作物の不作と飢餓、エイズ感染に苦しむ人びと、あるいは民族対立や内戦などがいつも紹介されています。最近ではエボラ出血熱の大流行もおおきな話題になりました。アフリカは、いまでも「暗黒大陸」なのです。

「遠い」アフリカ

しかし、それとは逆のイメージもまた、わたしたちにはおなじみのもので、アフリカといえば「大自然が残る野生の王国」であり、「伝統的な文化や価値観」を守っている人びとが生きているエキゾテックなところ。地平線まで続く青い空とサバンナ。そこに暮らす野生動物の群れ。赤い衣装を身にまとい高くジャンプするマサイの戦士たちといったイメージは、誰もがよく知っています。アフリカは「太陽がまぶしい明るい大陸」でもあるのです。



写真1 河床に掘られた井戸でラクダに給水する少女
トゥルカナの人びとは乾期になると、あちこちに井戸を掘って家畜に給水する。その井戸は深いときには6〜7メートルもあり、5人ほどが井戸の中でたてにならないで、木製のバケツを使ってリレーで水をくみあげる

このようにわたしたちはマスメディアをとおして、アフリカに関するマイナスとプラスの両方のイメージをもっています。「人びとが貧困や病気に苦しみ、国際社会の支援を求めている悲惨な大陸」、あるいは逆に「わたしたちが失ってしまった貴重な大自然や昔ながらの文化が維持されている大陸」——「暗黒大陸」と「太陽の大陸」。しかし、このように正反対に見える二つのイメージには、じつ

はおおきな共通点があることをみのがしてはならないと思います。つまり、いずれにしてもアフリカは未開であり、わたしたちの世界からは隔絶された異質なものとしてイメージされています。アフリカに住む人びとは「遠い他者」なのです。

トゥルカナの人びと

東アフリカ・ケニア共和国の北西部には、トゥルカナとよばれる人口



図1 ケニアの難民キャンプの分布
ケニアの北部と東北部は、半砂漠とサバンナの景観がひろがる遊牧民の生活地域。ふたつの難民キャンプは、いずれも人口密度の高い農村地帯や都市部からは遠いところに設置されている



◎おた・いたる

1953年、長野県に生まれる。1976年に京都大学理学部を卒業、1984年に同大学院理学研究科博士課程単位取得退学。京都大学理学部研修員、京都大学アフリカ地域研究センター助教授、京都大学大学院人間・環境学研究科、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科助教授などをへて、2004年から現職。専門は、アフリカ地域研究と人類学。おもな調査地はケニア共和国とナミビア共和国。

約八〇万の遊牧民が九州ほどの広さの土地に暮らしています。この地域の年間の降水量は二〇〇〜四〇〇ミリメートルほどしかなく、農業にはあまり適していません。人びとはウシやラクダ、ヤギ、ヒツジといった家畜を飼いながら、移動性の高い牧畜生活をおくっています(写真1)。

この乾燥地域は生産性が低く、歴史的には植民地時代から現在にいたるまで、産業の育成やインフラ整備のための投資がほとんどおこなわれてきませんでした。国家の開発政策から黙殺されてきたこの人びとは、近年まで、「文明」からは比較的遠いところにおり、現在でも大多数は電気も水道もない生活をしています。

わたしは、一九七八年に最初にトゥルカナ地域を訪問して以来、ほぼ毎年、この地域にかよってフィールドワークを続けてきました。この小論では、わたしが三六年にわたってこの人びとから学んできたことの一部

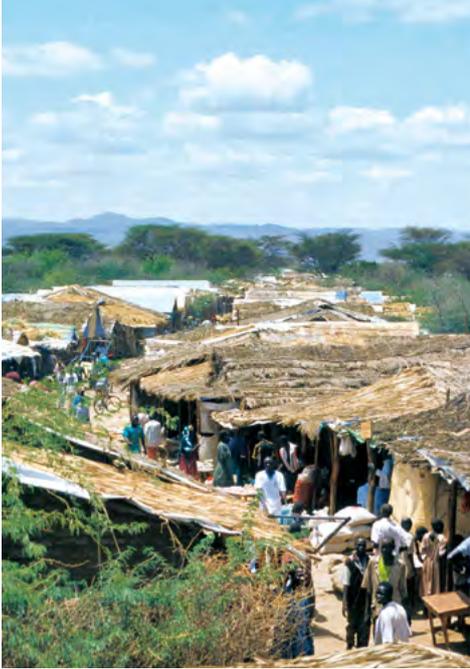


写真2 難民キャンプのなかのエチオピア人の商店街
フラぶきの商店はみすばらしく見えるが、食料や嗜好品、衣料などのほか、ケータイ電話や短波ラジオ、インスタント・カメラ、腕時計、女性のアクセサリや香水など、なんでも売っている



写真3 難民キャンプのメイン・ストリートにあるトタン屋根の店
看板には、ここにコンピュータ学校があること、また、コンピュータ・ファイルのプリントアウトや書類のコピーができることが書かれている

を語ろうと思います。しかし、このように述べるとすぐに、「アフリカの『遠い他者』——ケニアの片隅で原始的な生活をおくる人びとから、先進国に住むわたしたちが学ぶことなど、あるのだろうか。教えてあげることなら、たくさんあるけれど……」という声が聞こえてきます。けれども、

かれらの生活のやりかたや価値観には、わたしたちが当然と思いついでいる生きかたに対するシャープで厳しい批判力があると、わたしは考えています。そのことがわかっていただければ、この小論は大成功です。

わたしの調査村に 難民キャンプがやってきた

わたしがトゥルカナ地域でフィールドワークをするための基地としていたのは、カクマという町の北方四キロメートルほどのところにある小さな集落です。ここでわたしは、トゥルカナの人びとの牧畜生活がどのよ

うになりたっているのか、かれらは何を大切に生きてきているのかといったことを学んできました。

ところが一九九二年に、この集落から五〇〇メートルほど西に、ケニアの隣国から来た難民を収容するための大きなキャンプが突然に出現しました。ケニア政府は、難民を自国民として受け入れる政策をとっていません。そして、難民をできるだけ国の中心地から離れた辺境地に隔離しておこうとしています。そのため選ばれたのがカクマとダダーブの二か所でした(図1)。

カクマの難民キャンプはおおよそ二

×五キロメートルの範囲にひろがっており、現在は難民の流入が続いているために拡大計画が進行中です(図2、写真2)。キャンプ全体を囲む柵はなく、難民も地元民のトゥルカナも自由に出入りすることができ、ここに暮らす難民の多くは、ケニアの隣国スーダンで断続的に続いでい

る内戦からのがれてきた人びと、あるいはソマリアとエチオピアで一九九一年に軍事力による政権交代があいついたときに、ケニアに流入してきた人びとです(図3)。二〇一五年六月現在、カクマ・キャンプには約一八万人の難民が生活しています。

このキャンプに住んでいる難民の大多数はこのキャンプに来るまで、地元民のトゥルカナとはまったく接触をもったことがありませんでした。難民も地元民も突然に、言語的にも社会的・文化的にもまったく異なる人びとと、隣人としてつきあうことを余儀なくされたのです。

さきほどわたしは、わたしたちにとってアフリカの人びとは「遠い他者」であると述べました。トゥルカナの人びとにとっても難民は、おなじように「遠い他者」でした。けれども、似ているのはここまではです。

わたしたちの他者とのつきあいかたと、トゥルカナの人びとのそれとは正反対のところがあります。わたしがこの小論で語りたいのは、そのことなのですが、ちょっと先まわりをして結論を簡潔に述べておきます。

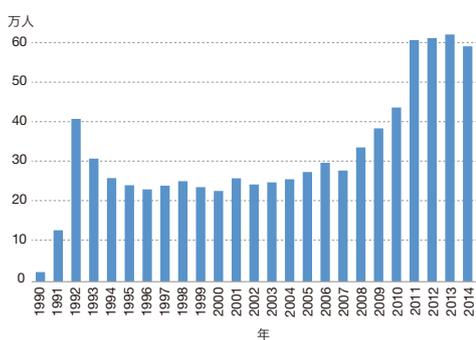
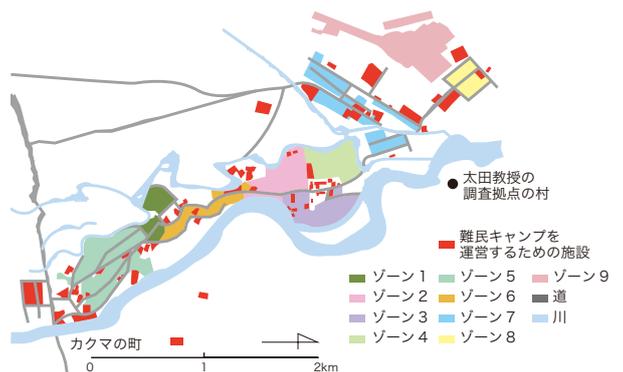
わたしたちは他者と対人関係をもつときに、相手が男性か女性か、老人か若者か、外国人か日本人か、あるいは先生か生徒かといったように、相手をなんらかのカテゴリーに属するものとして位置づけて、それにふさわしい態度をとろうとします。そのときに相手は、まさにそのカテゴリーに属する存在に還元されるがゆ

←図2 カクマの町から北に広がる
難民キャンプの地図

東側にある川には普段は水がなく、上流で大雨が降ったときだけ、水が流れる。難民を組織するためにキャンプ全体は9つのゾーンに分けられている

←図3 ケニア国内にいる難民数の
変化

1991年に隣国のソマリアとエチオピアで武力による政権交代がおこったあと、ケニアの難民数は急激に増加。その後には、故郷にもどった難民もいたが、2009年ごろからソマリアでの戦闘が激しくなり、流入する難民がまた増加した



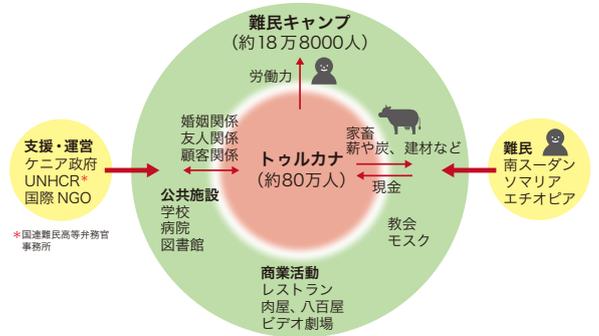


図4 トウルカナの人びとと難民キャンプとの複雑な関係の模式図

キャンプには、難民を支援するために外部から大量のモノやお金、そして新しい情報が流れこみ、それが地元民のトウルカナに流出している。キャンプの運営のために外国人など、異なる文化をもつ人びとも、多数、やってきた。そのことが地元社会にあたえた影響は、はかりしれない



写真4 難民キャンプのなかで薪を売るとウルカナの女性

UNHCRは難民に薪を配給しているが、それは必要量の5分の1ほどにすぎず、残りを難民はトウルカナの女性から直接に買っている。ひとりの女性は一回に10kgほどの薪をキャンプに運んでいき、それを全部売れば、主食となるトウモロコシの粉を2~4kgほど買うことができる



写真5 難民キャンプのなかで売られている家の建材

難民は泥壁の家を建てるときに、この細い枝を隙間なく並べた壁をつくり、その上に泥を塗る。ほかにも、家の柱となる直径6~7cmほどの丸太や、屋根を葺くための木の葉などを、トウルカナが難民に売っている

えに、その個性は消去されてしまいます。それに対してトウルカナの人びとは難民を、なんらかのカテゴリに属する存在としてではなく、「顔が見える具体的な個人」へあな「た」としてあつかいました。そして、かれらは難民とのあいだでお互いに能動的な働きかけと交渉を繰り返しつつ、共存をめざした実践を積み重ねて、相互に依存しあう個人的な社会関係を創出していったのです。

地元民と難民との多様な関係

カクマ難民キャンプは都市的な空間です。ここでは多国籍・多民族の人びとが、英語やスワヒリ語、アラビア語、アムハラ語、ソマリ語など、多数の言語を話していますし、キリスト教徒もイスラム教徒もいます。

このキャンプには、幼稚園や小学校、中学校、職業訓練校、病院や診療所、図書館や多目的のコミュニティセンターなどの公共施設があり、教会やモスクもあります(図4)。

さらには難民による商業活動が活発に営まれていて、たぐさんのレストランやバー、雑貨店、肉屋、八百屋、そしてカンフー映画を上映しているビデオ劇場まであります(写真2・3)。衛星放送を受信するための大きなアンテナをそでなえたバーにはいつてみれば、テレビの画面にはマイケル・ジャクソンのプロモーションビデオが流れていたり、セリエAのサッカー試合が上映されていたりするので、これを都市と表現してもまちがいではないでしょう。

こうしてさまざまな商売を営む難

民は、地元民トウルカナを労働者として雇用しています。自分の家で掃除や洗濯、水くみなどの仕事をさせるために難民がトウルカナの子どもを雇い、その子どもを難民として登録して配給食料を多めに受け取っていることもあります。また、トウルカナの人びとは薪や炭、家の建材となる木の枝、家畜のミルクなどをキャンプに運んでいって難民に売り、少額ですが定期的に現金を得るようになります(写真4・5)。さらに、難民キャンプは食肉の一大消費地となったため、ウシやラクダ、ヤギなどの家畜の値段が高騰しました。

このように、トウルカナの人びとの生活は難民キャンプの出現によって大きな影響を受けました。その過程で人びとは難民とのあいだに、さ

さまざまな社会関係をアクティブに開拓してゆきました。それは、男女間の婚姻関係だったり、贈り物の授受を介した友人関係であったり、あるいは小商いをする人とその常連客という顧客関係だったりしました。まったく言葉が通じない相手とのあいだに、こうした関係が次つぎに創出されていったことに、わたしは当初はとて驚いたのですが、その委細を知るようになってからは「いかにもトウルカナの人びとらしいつきあいかただな」と思うようになりました。以下には、そうした事例のひとつを紹介します。

エリスとスーザン

この事例の主人公のトウルカナ男性エリスは、わたしが親しくしてい

た家族の遠い親戚でした。二〇〇二年当時には二〇代の後半で、学校教育は受けたことがありませんが、難民キャンプで警備員として雇われていました。もうひとりの主人公でエリスの妻となった女性スーザンは南スーダン人で、一九九九年五月にカクマ難民キャンプにやってきてエリスと知りあいました。

二〇〇〇年九月には、ふたりのあいだに娘さんが誕生しています。エリスはスーザンの家族から婚資(結納のようなもの)として二万ケニア・シリング(当時約三万円)を支払うように求められ、警備員の賃金をそれにつきこんで、二〇〇一年の八月頃には完済していました。この夫婦は、二〇〇〇年から二〇〇一年にかけてはトゥルカナの村に住んでいたのですが、二〇〇二年八月には難民キャンプに家をかまえていたので、わたしはそこを訪問してみることにしました。

かれらの家は難民キャンプの北のほずれにありました。わたしがあつたずねて行くことを、まをもつて知らされていたスーザンの家の人がとは、わたしを歓迎して、家のなかに招き入れてくれました(写真6)。それは泥壁にワラぶきで、部屋がひとつしかない小さな家でした。それまでわたしはスーザンとはほとんど話をしたことがなかったのです。彼女が不自由なくトゥルカナ語を話す姿に、少なからずびつくりさせられました。けれども考えてみれば当然かもしれませぬ。

彼女は、一年以上もトゥルカナの村に住んでいたのですから。

すぐに、彼女の親族や隣人たちが次つぎにわたしにあいさつにやってきました。スーザンはその人びとをわたしに紹介したあと、「ちょっと待っていて」と言つて家から出て行きました。エリスは、「自分はいま、難民として登録されている」と語り、彼とスーザン、そして娘の三人分の食糧配給が受けられる登録証をみせてくれました(写真7)。そうするうちにスーザンは、まず紅茶を用意してくれて、そのあとには肉やタマネギが入ったスパゲティの昼食もごちそうしてくれました。貧しい生活のなかで、無理をして材料を買つてきてくれたのです。そして昼食が終わったあと、ようやくスーザンはわたしと二緒にすわつて話を始めました。

スーザンは、子どもたちのために学費を、それから一家の食費を援助してほしいとわたしに頼みました。あらたまつたようすでわたしにおねだりをしたときに、彼女はトゥルカナ語ではなく、自分の故郷の共通語であるアラビア語で話しました。すると、驚いたことにこんどはエリスが、それをトゥルカナ語に通訳して、わたしに伝えたのです。うかつなことにも、まったく知らなかったのですが、難民キャンプで雇用されていたエリスにはアラビア語に接する機会がいくつでもあつたでしょうし、なんといつても彼はスーザンと結婚

しているのですから、アラビア語を使いこなしたとしても不思議ではありません。

わたしは、こうしてかれらが言語の壁をのり越えながら、きちんとしたつきあいをしていることに深い感銘を受けていました。けれどもこのことは、ふたりにしてみれば当然のことです。このエピソードは、たんにわたしがかつたつたことを示しているにすぎません。このようにトゥルカナも難民も、「遠い他者」とのあいだに個人的な関係を創出し維持してゆくための高い能力をもっているのです。

顔の見える(あなた)として 接し、密接な関係を築く

トゥルカナの人びとは一般に、対面的な人間関係において、強引なまでに積極的に相手に働きかけながら、その場で相手の積極的な反応や能動性をひきだす力をもっています。かれらは他者に向かいあうときに、相手をつねに「目のまえにいて顔が見える(あなた)」として遇します。(あなたは、性別や年齢、職業や国籍など、さまざまな属性をもちながら、そのどれにも還元されないひとりの生身の人間としてあつかわれるのです。

わたしたちは、しばしばトゥルカナの人びとは正反対のやりかたで人間関係をつくるうとします。つまり、相手は男性か女性か、老人か若者か、あるいは日本人か外国人かといったように、相手がどんなカテゴリーに属しているのかを参照しながら、相

手に対する態度を決めようとしています。そうしたときに相手は、たとえ物理的には(わたし)の目の前にいるとしても、没個性の存在となつてしまいます。こうして(わたし)は、他者との直接的・身体的な相互関係から身を離してしまうことになるのです。

他者をこのように目の前から「不在」にしてしまふこと、これがわたしたちの人間関係の作りかたの特徴のひとつです。このことをわたしは、かれらとのつきあいのなかで知ることになりました。これに対してトゥルカナ社会では、同一空間に属している(あなた)と(わたし)が直接的な相互交流をもちながら、具体的な社会関係を模索します。

人間が他民族を均質で閉鎖的・一枚岩的な対象(つまり(われわれ)とは異なる(かれら)と位置づける)とき、他者は「不在」になってしまいます。トゥルカナの人びとは他者を、徹底的に「目の前にいて顔が見える(あなた)」の位置において接しようとするのです。突然に出現した「遠い他者」である難民とのつきあいにいっても、それはおなじでした。難民とトゥルカナの人びとのあいだに創出された多様で個人的な人間関係は、こうした「他者とのつきあいかた」のあらわれだったのです。



写真6 スーザンの家を訪問したときの写真
まんなかにいる背の高い女性がスーザン。子どもたちがたくさん集まってきて記念写真をとった



写真7 エリスがみせてくれたUNHCRから食糧配給を受けるためのカード
3人分の食糧を得る資格があることや、いつ配給を受けたのかわかるようになっている

克己して 日本一の肉体をめざす

河勝雅行さん 医学部3回生

逆 三角形の体に隆々とした筋肉、ほどよく日焼けした肌。待ちあわせ場所に立つ優しげな青年と目が合う。「シーズンまえなので、脂肪もついているし、日焼けも足りませんよ」と河勝雅行さんは謙遜するが、それでも二の腕の太さは私の倍はありそうだ。

野球部だった中学時代、練習の一環ではじめた筋トレに魅了されて以来、ボディビル一筋。2014年は主要な3つのボディビル学生大会を制覇。当時2回生だった河勝さんの体格に驚いた先輩が思わず発した「史上初の全日本学生ボディビル選手権3連覇をめざすべきや」ということばに触発されて大会に初出場。みごと優勝を果たした。「3連覇を宣言したからにはあきらめない」。まずは、2連覇をめざして、日々トレーニングに奮闘する。

ボディビルのおもな採点ポイントは、筋肉の大きさ、脂肪が少なく筋繊維の隆起がきれいに浮き上がること、全身の筋肉がバランスよく発達していること。均一に鍛えるために



↑筋トレのフォームがくずれないと、鍛えたい部位にうまく力が入らない。鏡を見ながら、負荷のかかっている筋肉を確認

←地区予選を突破した強者が集う選手権。河勝さんの自慢の部位は太ももをはじめとする足の筋肉

全身を5つの部位に分けて、「きょうは胸、あすは腕」と、一週間ですべての部位を鍛えてゆく。

今年度の大会まであと3か月にせまり、いよいよ減量をして体を仕上げる段階に突入。「食事は炭水化物のお米を抜いて肉と野菜だけ。毎食のカロリーを計算し、朝昼晩と自

炊します」。食欲は人間の根源的な欲求。誘惑に負けることもあり、制御はかなりむずかしいようだ。前年度をふりかえり、「あまりにも減量がしんどくて、優勝の喜びよりも、やっと終わったという気持ちが大きかった」ともらす河勝さん。「大会が終わったら食べるものをリストにしています。この解放感を味わうことが、減量をのりきるモチベーションかもしれません」。

みずからの体と向きあう毎日だが、ふだんは医学生として人体の不思議を見つめる。「医学の知識が筋トレに役だつかもと期待しましたが、まったくのべつものでした」と笑う。医師の仕事は、小学生からあこがれつづける夢。「きょうも帰って勉強です」。トレーニング後の汗をぬぐいながら、河勝さんは体育館を後にした。



↑サラダ、鶏むね肉、納豆、豆腐とストイックな減量中の食事メニュー

学生たちの活躍 邁進・京大スピリット

心を揺さぶる 和音を紡ぐ

尾関峻さん 工学部4回生
グリークラブ

吉 田キャンパスの吉田南構内は、合唱系サークルの活動拠点。京都大学唯一の男声合唱団、グリークラブの練習場所もここにある。指揮者の合図で、どっしりと低い和音が教室に響きわたる。高音までカバーする厚みある歌声は、男性だけの合唱とは信じがたい。心地よいハーモニーが生み出されるなかで、手ぶりを加えながら慎重に音程を確認する尾関峻さんの姿がひととき目をひいた。

↓楽譜には歌い方のポイントやことばの意味が書きこまれている



尾関さんと合唱との出会いは中学2年生。すでに10年のキャリアだが、「それでもまだまだです。男性の声が完成するのは30、40歳。ぼくたちの声は未熟で、厚みが足りない」。満足できる歌声になるまでの道のりは長い。「だから合唱は一生の趣味なんです」。

男声合唱の魅力に本格的にめざめたのは、グリークラブに入団してからだという。「男声だけで、いかに澄んだ、厚みのある和音を生み出すかを模索するのがおもしろい」。男声合唱は混声合唱に比べて音域が狭いゆえに、繊細で探究心がくすぐられるという。

「ことばひとつ、歌詞の読み方ひとつで歌の表情は変化します。(旅にしあれば)*という一節は、旅に(死)があるのか、(旅)があるのかの解釈によって込める気持ちががちがいます。ことばに託された感情を意識してはじめて(うまい歌)で



←男声合唱は、声域などによって、トップテナー、セカンドテナー、バリトン、バスの4つのパートに分かれる。尾関さんは「目立たず職人技に徹する」セカンドテナーを担当(写真左)

はなく、聴く人をひきつける(味のある歌)に変わるんです」。言葉の意味をていねいに奏で分けられるのは合唱ならではの魅力だ。

歌う楽しみを熱く語る尾関さんが、さらに目を輝かせたのは、団員やお客さんとのエピソードを話すときだ。「恒例行事の老人ホームでの演奏会は、ホールとはちがって、お客さんとの距離が近くて反応が手にとるようにわかります。拍手をもらうと、響いているんだと実感できます」。心のこもった合唱は、受け取り手の心も熱く振動させる。

「卒業直前の演奏会で、卒団される先輩のソロを聞いて泣いてしまっ」と恥ずかしそうに笑った。尾関さん自身の卒業もちがいの。長い人生のひとつの節目に、心温まる和音が届くようにと、練習を重ねる彼らは、夏の陽ざしに負けずまぶしかつた。

*「琵琶湖周航の歌」の一節

* <https://sites.google.com/site/kyotoglee/>

悔しさ・厳しさも 団結力を磨く砥石となる

日部雄太さん 理学部4回生
カヌー部 主将

J R東海道本線の瀬田川橋梁の脇にある京大カヌー部艇庫。1階に並ぶ色とりどりの鮮やかなボートを横目に2階の合宿所にあがると、台所に陣取る55合が炊ける大きな炊飯器に驚く。「毎週末、泊まりこみで練習です。部員45人ぶんの食事をマネージャーが仕込んでくれるんです」と日部雄太さん。練習を終え艇庫にもどると、おいしそうに



おいが部員を迎える。「カレーの香りがするとなぜかテンションがあがりますね」。

平日もできるかぎり瀬田川に赴く。練習後は一泊し、朝5時半からの朝練をこなし授業に向かうこともある。「ほぼ毎日、部員と寝食をとともにします。仲の良さは自慢ですが、こ



男子部屋の天井には、歴代の賞状と1年の目標を書いた布が貼りつけられている

カヌーには両側にブレードのついたパドルで漕ぐカヤックと、片膝立ちで片側のみブレードがついたパドルで漕ぐカナディアン2種類がある。「水上の船は不安定。初心者が転覆せずに乗れるようになるには、1か月かかります」。写真左が日部さん



カヌー部艇庫

れは楽しい思い出だけではなく、負けた悔しさや練習の厳しさも共有して築かれたもの。チーム一丸となって戦う気持ちはどの大学にも負けません」。日本各地の強豪校がひしめく、8月末の全日本学生カヌー選手権大会の出場には関西予選の突破が条件。京大からの出場を昨年の倍の20人に増やすことを目標に掲げ、日部さんは部員を鼓舞する。

夏から秋の試合シーズンを終えると、部員全員が「もっともつらい時期」と口にする冬の到来だ。試合という近々の目標がないぶん、自分自身と徹底的に向きあう時間が増える。「冬季も水上練習は欠かせませんが、とにかく寒い、強風で川が荒れることも増えます。ただ、冬のうちに自分の弱点を認めてしっかりと練習すれば、翌年の結果が大きくなる。冬は精神的にも肉体的にも鍛えられて、成長できる時期でもあります」。

8月に引退を控える日部さんにとって、カヌーに全力で打ちこめる期間は残りわずか。「目標はカヌーを楽しむこと」。楽観的なことばに聞こえるが、つつけて日部さんは語る。「楽しむには勝つことが必要。結果は一年間積み上げた努力の表れです。思うような結果でないと、一年間が否定されるようでたまらなく悔しい」。4年間、カヌーと向きあい、酸いも甘いも味わって吐きだされた本音だ。

学生たちの活躍 邁進・京大スピリット

将棋のさし示す 方向へ進む

山口絵美菜さん 文学部3回生

将棋は私にとって羅針盤です。そう答える瞳はまっすぐで、迷いが無い。京都大学から初めて誕生した女流棋士・山口絵美菜さんの人生は、つねに将棋とともにある。将棋という針が示す方向に導かれ、京都大学に入学。「対局時に不可欠な集中力を研究すれば、もっと強くなれるのではないかと。こうしたアカデミックなアプローチで将棋に向きあう棋士は、将棋界でも稀有な存在だ。

将棋に誠実に向きあうこと。それが山口さんのモットー。「対局中は勝ち負けにこだわりがちですが、余計な考えは捨てて、ていねいに指すことだけを意識しています」。将棋盤だけを見つめていると、駒が次の手を語りかけてくることもあるという。「窮地に追いつめられたときに起死回生の一手がひらめく瞬間は、衝撃にもちかい。駒がひとりだけで動く感じがしました」。駒が語ったとおりの手を指し、逆転勝利をおさめた対局をふりかえる。

次つぎと新しい戦法が生みだされ、従来の戦法が一晩で使いものにならなくなることも。「対局の実戦練習のみではなく、地道な勉強も欠かせません」



「ジんクスは対局の前日に前髪を切る。視界を良好にして、将棋のことだけが目に入るように」

もちろんこの一手の閃きも日々の練習のたまもの。朝2時間の練習に始まり、授業のあいまや放課後も将棋の勉強に費やす。家事にも手は抜かない。「栄養バランスのとれた自炊で基礎をつくれれば、体力や集中力アッ

プにもつながる」と、自己管理も徹底している。「友人からはくストイックすぎる」と驚かれますが、強くなるには当然のこと。私はまだまだだ。

やわらかな空気をまとう山口さんが、駒を動かすはじめたとたん、その雰囲気は一転。「将棋は対話」だと、山口さんは言う。「対局中はことばを発しません、盤上ではずっと〈私の考えはこうだ〉と主張しています」。将棋の前では、自分を偽れない。攻めつきの強い性格も盤上にする。だからこそ将棋に寄せる信頼は厚い。「これからどこに向かえばいいか、将棋が正解をさし示してくれる」。

10月で女流棋士の資格が与えられる3級に昇格して1年を迎える。1年後の目標は1級に昇級すること。「2級になるだけでは満足できない」。熱い闘志を隠して、山口さんは静かに微笑んだ。



師事している森一門祝賀会での兄弟子・糸谷哲郎竜王との対局。棋界トップの竜王であるにもかかわらず、手を緩めず、最後まで厳しい手を指された。一流の将棋を肌で感じた一局

●授業計画と内容

1. 生物時計
2. 概日リズムと環境要因
3. 光環境と体内時計
4. メラトニンなどのホルモンと生体リズム
5. 体温調節と生体リズム
6. 地球・生命の歴史と生体リズム
7. 温度環境と睡眠
8. 増加する睡眠障害に悩む人々
9. 生体リズムとライフステージとの関連
10. 事故と睡眠不足
11. ジェットラグとシフトワーク
12. 季節性気分障害とその対策
13. 24時間社会によるこどものライフスタイルの変化と問題点
14. スポーツと生体リズム(宇宙旅行とリズム)



◎わかむら・ともこ

1962年に京都市に生まれる。京都大学医療技術短期大学部看護学専攻（現 京都大学医学部保健学科）卒業。奈良女子大学大学院人間文化研究科博士課程修了。京都大学胸部疾患研究所附属病院に看護師として6年間勤務。兵庫県立看護大学講師。京都大学医学部保健学科助教授、准教授をへて2011年度から現職。編著書に「生体リズムと健康（京大人気講義シリーズ）」(丸善)がある。

〈吉田南4号館 4共31教室〉

授業に潜入！
「おもしろ学問」講義録
全学共通科目 現代社会適応科目群 健康科学系科目
「生体リズムと健康」

若村智子

大学院医学研究科 教授

「眠れない」は あなどれない 増加する睡眠障害に悩む人びと

ガーガーという大きないびきは病気のサインかもしれない。「眠っているお父さんのようすを観察してください」。現代人の睡眠事情を学生たちの実生活に関連づけて解説する若村智子教授。今回のテーマは、テレビや新聞にも取りあげられ、耳にする機会の増えた睡眠時無呼吸症候群^{*}。日中に極度の眠気や注意力の低下を招き、自動車などの運転中の重大な事故につながる可能性もあるが、「きちんと治療をすれば、不幸を未然に防げる病気です」。看護師としての経験豊かな若村教授は、治療に取り組む人びとをとりまく生活や職場環境、法整備などの課題に患者目線で鋭くきりこむ

* SAS : Sleep Apnea Syndrome



起きられない理由は夜間にあびる光

二〇一二年の春、観光客でにぎわう京都市東山区の四条花見小路の交差点で、歩行者に自動車があつこむ事故がありました。運転手を含めて8人も人が亡くなり、多数の重症者がでました。てんかんの発作が原因で起こったこの事故をうけて道路交通法が改正され、睡眠障害に関わる項目も大きく変わりました。

睡眠障害が要因で交通事故を起こした場合、直接の原因は病気がですが、その病気をひきおこした因果関係は複雑で、だれに非があるのか答えを出すのは簡単ではありません。

眠るとはなにか、眠れないとはどういうことか、人間の生体リズムの基本を考えることをとおして、睡眠障害を理解してほしいのです。

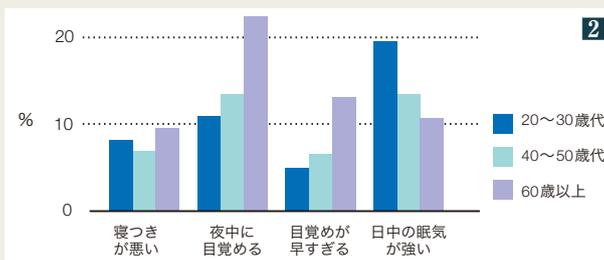
これまでの授業で、生体リズムの調節には光環境が重要な役割を担っていると学びましたが、あらためて睡眠と光との基本原則をおさらいしましょう。昼間に光にあたると、夜によく眠れます。ふだんよりも早い時間に明るい光をあびたり、遅い時間に光にあびると睡眠のサイクルが変わります¹。光と眠りに関する実験でも、光は私たちの生活に大きく影響を与えていることが明らかになりました。

みなさんも夜に光をあびることがあると思います。コンビニエンスストアの光は象徴的ですね。夜に明るい光をあびると、睡眠サイクルがずれて、起きたい時間に起きられない。だから、日中に眠気が起こります。

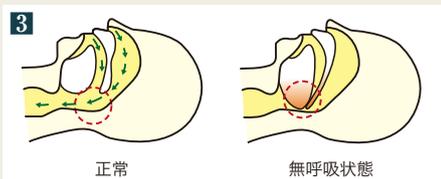
②は、睡眠に困る人の割合を年齢別に示したグラフです。若い人には、「日中の眠気強い」と訴える割合が多いですが、高齢になるほど、夜中に目覚めることに困る人が多くなります。でも、このデータだけでは、夜に目が覚めてよく眠れないのか、むかしとくらべて目が覚めることが多くて気になっているのかまでは読みとれません。こういうデータをみて、「人口の30パーセントが睡眠に悩んでいる」と結論づけるのは短絡的ですね。

睡眠障害にはさまざまな種類があります。一つは、睡眠相後退症候群(DSPS)です。覚醒時刻が夜にずれ、生活を送る人には、この診断名がつく可能性があります。

「昔前は、定刻どおりに登校できなかった子は、「さぼっている」「やる気がない」と精神論でかたづけられてきました。みなさんのなかにも、「起きられないのはたるんでいるからだ」と頭ごなしに叱られて、つらい思いをしてきた人がいるかもしれません。DSPSと病名がつくことは、そうした人たちの救いになっている一面もあります。



年齢と睡眠問題
年齢別に睡眠に関する問題を調査したもの

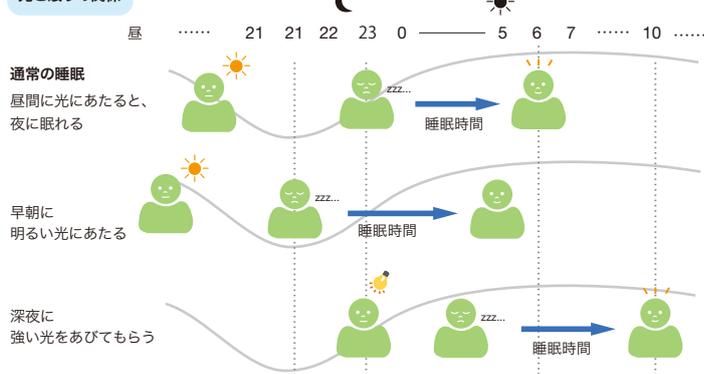


睡眠時無呼吸症候群のメカニズム

睡眠中に上気道がくりかえしふさがって呼吸障害をひきおこす。1回につき10～40秒つづき、特徴的な激しいいびきをかく

→光は生体リズムに大きな影響あり
光のタイミングは入眠時刻と関係がある

光と眠りの関係



大きないびきはSASのサイン

きょうの講義の本题は、睡眠時無呼吸症候群(SAS)です。睡眠時におおむけになっても、鼻、口、喉の上気道に空気が流通しているのが本来の状態です。しかし、重力で舌が下がったり、頸部に脂肪がつきすぎて上気道が狭くなると、空気がとおりづらくなって、ガーガーと大きないびきをかきます。さらに狭くなって、呼吸が止まってしまふ病気が睡眠時無呼吸症候群です。

SASには、脳機能に障害があつてうまく呼吸できない中枢性睡眠時無呼吸症候群と、物理的に上気道が閉塞して息が止まってしまふ閉塞性睡眠時無呼吸症候群の二種類があります。中枢性は、ほかの病気の診察のさいに発見されやすいのですが、閉塞性は、家族など、そばで寝ている人が気づいて発見されることが多いようです。こういう病気があることを知ってれば、たとえば、眠っているお父さんのようすを見て気づく可能性がりますから、きょうは一所懸命に話しますね。

SASの病態生理を説明しましょう。眠ることで舌まわりの筋肉が緩むと喉に落ちこみます。上気道の虚脱が起つて、気道を塞いで無呼吸状態になります。無呼吸状態になると息が止まり、酸欠になって目が覚める。目が覚めると、気道が開いて息が入ってくるので、また眠ることができると、SASの患者さんは、これを夜中にくり返しています。

息が止まると、脳や心臓に酸素やガスが供給されない状態なので、脳はゆっくりと休めません。だから、昼間に眠くなる。心臓血管系の疾患のリスクも高くなります。アメリカでは二〇〇三年にSASが高血圧のリスクの第一位になりました。高血圧症の人がSASの治療をすると、血圧が下がるのではないかといわれるくらい、SASと高血圧は直結しています。

主な治療法には、鼻にマスクをつけて、寝ているあいだに強制的に空気を送るCPAP療法があります。最近の器具です。鼻のところだけを覆います。口も覆うと、こもった息がマスクのなかで水滴になってたいへん不快です。鼻だけにするとマスクがべたべたにならずにすみます。口を閉じた状態で眠れるとよいのですが、どうしても口が開いてしまふ人は、口にテープして眠る方法があります。そのほうがよく休めるので、結果的に睡眠の質が高くなります。

「こんなものつけるの格好わるい」と思う方は多いようで、まわ

りの人から「変な器具ね」と冷やかされて、治療を断念する人がおられます。薬を飲んで治療する病気で、「そんな薬、格好わるい」と言われることはありませんが、この病気には、「こうした大がかりな器具のイメージがつきまるとして、治療継続のネックになることがあるのです。ですから、「朝の爽快感がとてもよいから、CPAP療法を続けていますよ」という患者さんの声を聞くと、ほっとします。

CPAPは自宅でできる治療ですから、家族やまわりの人のサポートがだいじです。CPAPの器具は、めがねをかけたりはずしたりすると同じようなものです。めがねは昼間にかけて、眠るときにははずす。CPAPは夜中につけて、朝起きたらはずす。器具は生活の一部としてとりこまれています。

最近では、CPAPの器具にコンピュータが内蔵されたものもあります。病院での診察のさいに、そのメモリーカードを提出すれば、夜中に器具をどう使ったのかが一目瞭然とわかつて、治療の指導にいかせるのが特徴です。

患者には男性が多いといわれています。もしも結婚相手がこの器具をつかっていたら、「気にしなくていい」と言っておいてください。「結婚が決まったら、気にならなくていい」と言っておいていくべきか」と悩んでおられる患者さんは少なくありません。大がかりな装置が気になる方には小さい器具を勧めるなど、患者さんの生活環境やまわりの人との関係にも配慮しながら、治療を継続できるよう工夫しています。この病気には、そういうデリケートな配慮が必要なんです。

SASの原因は肥満だけにあらず

SASの患者さんは、どのくらいいるのでしょうか。二〇〇〇年ころ、大阪のビジネススマンを対象にSASを調査する研究にかかわっていました。その研究で、日本には重症から軽症まで含めて、SASの患者さんが六〇パーセントもいるとわかりました。日本人は肥満体型の人が少なく、患者は少ないといわれていたのですが、日本人のあの骨の形は独特で、とくに顎の小さい人たちはSASの可能性が高いといわれています。専門家なら、顎を見ただけで「SASの可能性が高い」とわかるようです。アメリカではSASの患者さんは肥満が特徴的ですが、日本では痩せ型の人にもSASの患者さんがいます。

みなさんはいじょうぶですか。まわりに「高血圧、昼間の眠気、いびき」の三点セットがそろえば、CPAPの治療をすべきかどうか、病院で診てもらうことを勧めてください。追突事故を起こした経験があるか、運転中にヒヤッとしたことがあるかも、受診のさいによく訊かれます。車の運転でヒヤッ

生 体リズムに関する睡眠障害には、時差症候群、いわゆる「時差ボケ」も含まれています。ほかにも、朝早く目が覚めることがつづいて睡眠相が前進する睡眠相前進症候群や非24時間睡眠覚醒症候群があげられます。

ほかにも、むずむず脚症候群という睡眠障害もあります。夜間睡眠中、すねの周辺に不快な感覚が起り、耐えがたい不安に襲われてじっとできなくなる病気で、人口の1～3%の人が発症するといわれています。そういう方がもっとも困るのは、海外への長期フライトのような、あまり動けずにじっとしていなければならない場面。パーキンソン病の薬で改善できますが、それを知らずにがまんしている人がたくさんいるようです。



CPAP療法モデルはCPAP患者さんの看護で卒論を書いた吉川智大さん(2013年度卒)

***1 虚脱**

極度の脱力状態に陥ること。

***2 ESS (Epworth sleepiness scale)**

8項目からなる尺度で、主観的な日中の過度の眠気を測定できる。診察のさいにSASの可能性を判断する指標としてつかわれる。

***3 休業のガイドライン**

正式名称は「睡眠薬の適正な使用と休業のための診療ガイドライン」。2012年に厚生労働科学研究・障害者対策総合研究事業と日本睡眠学会が共同で策定。不眠症の薬物療法を安全かつ効果的に行なうための診療指針が示されている。

***4 レム睡眠**

体は眠っているが、脳が活動している睡眠時の状態。眼球の動きを伴う。睡眠時は、脳が眠っているノンレム睡眠とレム睡眠が交互に現れる。



SASの診断やCPAPの治療は、症状を的確に診断できる医師が少ないことから、普及するまでに時間がかかりました。京都大学医学部附属病院でも、2008年に呼吸管理睡眠制御学講座が設立されて、ようやく看板を掲げてSASの診察ができるようになりました。それまでは、呼吸器内科の担当医がSASの患者さんも診ていました。多くの患者さんがいることを知りながら、診察する側の人手が足りずに歯がゆい思いをするのは、多くの病院に共通する悩みようです。

した経験のある人は、「SASかもしれない」と自分で気がつくかもしれませんが、いびきがあるかどうかは自分ではわかりませんね。いびきがあるとわかっていても、「いびきくらいで」と軽んじて、わざわざ診察には行かない。ですから、気づいたまわりの人が勧めたあげることがないです。

SASが原因の交通事故を裁くむずかしさ

SASの方が起こした交通事故で、刑事責任を問うかどうかで裁判で争われることがあります。もしも加害者がタクシィやトラック運転手だったとしたら、こんごも仕事をつづけられるのかなど、デリケートな問題をはらんでいて、刑事と民事とで判決が無罪と有罪に分かれたこともありま。

こうした裁判には、担当した医師もかかります。事件の以前・以後を問わず、判決が出るまでのあいだにSASかどうかの診察をした場合は、患者さんの病気について、医師は裁判で証言しないとけません。証言によって判決が変わり、患者さんのその後の生活が大きく変わることもあります。

医師は、病気がどうかの診断はできません。でも、ほんとうにその事故は病気だけが要因だったのでしょうか。前日にたくさんお酒を飲んだり、夜ふかしをしたりして、睡眠不足状態で車の運転をしたのかもしれない。そこまでは、医師にはわかりません。それでも証言しなければならぬことに、医師は苦悩しています。

二〇〇一年に道路交通法が一部改正されました。免許が取り消される可能性のある病気として、統合失調症、躁うつ病、てんかんなどとなり、「重度の眠気の症状を有する睡眠障害」が加わりました。免許の申請・更新のさいに病気を原因とした意識障害やけいれん、十分な睡眠時間にもかかわらず起こる眠気の有無などを申告し、病気の可能性のある場合は、医師の診断書の提出が必要になりました。医師は、六か月以内に症状が改善する可能性を判断する必要があります。たとえば、「六か月以上治らない」と診断書にチェックすれば、免許が与えられず、たとえばタクシィ・ドライバーの方なら、仕事をつづけられなくなりま。そんな重要なことを医師が決めてよいのかと悩む医師もいます。

厳しくなる交通事故の懲罰

冒頭に紹介した京都市の事故や関東で起こった鹿沼市クレールン車暴走事故をきっかけに、道路交通法と自動車運転死傷行為処罰法が二〇一四年に大きく改訂されました。改正道路交通法では、免許の申請・更新のさいに、統合失調症や睡眠障害など、一

定の病気に該当するかどうかを判断するための質問票の記載が義務づけられ、虚偽の記載をした場合には罰金が科されることになりました。

自動車運転死傷行為処罰法は、病気の症状や薬物の影響で「正常な運転ができなくなるおそれ」を認識していながら運転して、人を死傷させた場合は、死亡事故で最高懲役一五年、負傷事故で最高懲役二二年の刑罰が科せられます。これは、京都市の四条通の事故を思い起こさせますね。対象となる病気は二〇〇一年の施行令と変わっていませんが、懲罰が厳しくなりました。

法律で質問票の提出が義務づけられて、懲罰も厳しくなったこのために、疾患をもつことを隠し、結局は事故を起こす可能性が高くなるのではないかとという危惧が、睡眠学研究に携わる関係者のなかにあります。行動の抑制効果をねらって厳しい罰則が科されるが、罰則があるがゆえに、「SASです」と申告しにくくなる。正直に言えば、免許証が発行されにくくなりますから。

SASであっても、ドライバーの多くはCPAP治療をして、昼間はきちんと目を覚まして眠気をコントロールしています。新しい法律によって、その人たちが生きにくくなるのは本末転倒です。社会がもっと睡眠障害を理解しなければいけません。

いっぽうで、睡眠障害をハードの面でサポートする動きもあります。ドライバーの眼や瞬きをセンサーで観察して、眠気の動きを感じると警告を発する車や、衝突を回避する自動ブレーキを搭載した車など、甚大な事故を防ぐ車の開発も進んでいます。「だから安心だ」ということはありませんが、できるだけ人の命を守って、悲しむ人が減ることを望みます。

血圧のように数値で測れない眠気

眠りに対する価値観や解釈は、年齢や状況によって変わります。5は二〇〇四年に京都大学の陳和夫先生が発表したデータです。ESSは眠気の尺度のチェック用紙です。点数が高いほど眠気が高いことを示します。ある患者さんに、CPAPの治療前の眠気を尋ねると、眠気の尺度は平均8点でした。治療

JESS™ ESS 日本語版

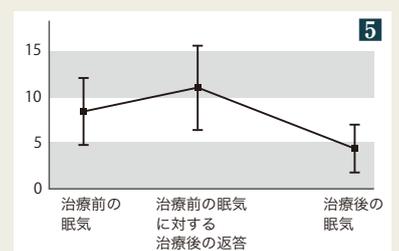
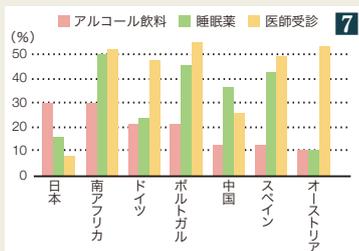
以下の状況になったとしたら、どのくらいとうとする(数秒～数分眠ってしまう)と思いますか。最近の日常生活を思い浮かべてお答えください。

- 0点=とうとうとする可能性はほとんどない
- 1点=とうとうとする可能性はすこしある
- 2点=とうとうとする可能性は半々くらい
- 3点=とうとうとする可能性が高い

- 座ってなにかを読んでいるとき
- 会議、映画館、劇場などで静かに座っているとき
- 乗客として1時間続けて自動車に乗っているとき
- 午後横になって、休息をとっているとき
- 座って人と話をしているとき
- 昼食をとったあと(飲酒なし)、静かに座っているとき
- 座って手紙や書類などを書いているとき

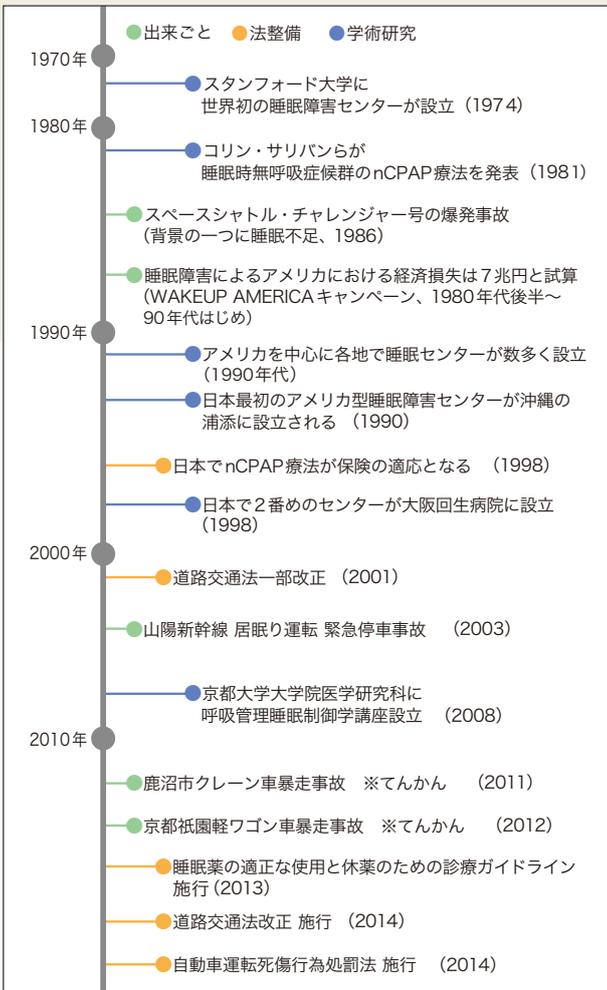
あなたの合計点は何点でしたか

- 0～5点 睡眠負債はほとんどなし
- 6～10点 やや睡眠負債がある
- 11～20点 かなり睡眠不足がある
- 21点以上 睡眠負債が限界に近い



ESS (Epworth sleepiness scale) 主観的な日中の過度の眠気を測定できる

CPAP治療前後での眠気の変化 点数が高いほど眠気が高い



←睡眠学と睡眠時無呼吸症候群の歴史
アメリカが政府として睡眠障害に取り組み
ているのに対し、日本は対処的な取り組み
にとどまっている。睡眠についての啓蒙がさ
らに重要である



後は、「よく眠れた」と4点に下がっています。そして、眠気が解消されて頭がすっきりした状態で、「治療前の眠気の状態はどれくらいでしたか」と尋ねると、15点に近いんですね。治療前は、つねに眠気がある状態なので、それが異常とは感じられず、スコアが高くないんです。ただし、眠気が改善したあとで現在と過去とをくらべて判断すると、過去のスコアが高くなるのは理解できますね。

眠気は、人それぞれの基準でしか判断できません。睡眠状況のわるい人に「眠気はどうですか」と訊くと、たいていは「たいしたことない」と答えます。本人ですら、改善されてはじめて、「私の眠気はすこかったんだ」とわかる。眠気は、血圧や血糖値のように高低が数値でわからないし、数値にあわせてコントロールできるものではありません。

幸せの解釈もそうです。たとえば、「幸せだ」と思っている人も、いまよりも不幸になれば、「あのころは幸せだった」、幸せになれば「あのときは不幸だった」というように、状況が変われば判断も変わります。睡眠もこれと同じだと理解してください。眠りに関して、みなさんにもそれぞれの思いがあるはずで、その眠りの意味を考えてみてください。みなさんは若くて元気で、毎日楽しいことがたくさんあるでしょう。睡眠時間を削って夜遅くまで遊んで、「授業中に寝てもいいや」と思える人の価値観と、年齢を重ねて、人づきあいも以前ほどなくなった人の

価値観とを同じに考えるわけにはゆきませんね。

現代の日本人の睡眠事情

日本人は睡眠薬の使用量が少ないかわりに、アルコールの力を借りて眠ろうとする人が多いというデータがあります⁷。病院にもあまり行かない。日本以外の各国は、睡眠薬を使用する人の割合が高いですね。このデータを見て、製薬会社は「日本でもっと薬を売れる」と考える。最近、「眠れないときには睡眠薬をどうぞ」というコマーシャルがよく流れますが、それは日本がターゲットにされているともいえるのです。

睡眠薬の使用が推奨されるいっぽうで、休業のガイドラインが策定されました。睡眠薬はもとと三週間以上の長期使用は想定されていません。ですが、日本には「睡眠薬を眠れないときだけ使い、改善したら終わる」という概念がありませんでした。薬を「止める」ことが睡眠薬使用のガイドラインに入ったことは、世の中を大きく変える出来ごとですが、まだあまり普及していないのが現状です。必要な人は睡眠薬を飲むべきです。ただし、長期にわたって飲みつづけるのではなく、一定の効果があらわれたら「止める」ことを試すのも一つです。

レム睡眠行動障害についてもお話しておきましょう。レム睡眠時は、頭と体が連動せず、夢を見ても体は動かないはずですが、レム睡眠行動障害の人たちは、見ている夢と行動が連動してしまふ。たとえば、夢のなかでなにかを殴っている行動にあわせて現実体が動き、たまたま横で寝ていた奥さんが殴られてけがをすることがあります。

殴られた奥さんは、「家庭内暴力ではない」、「夫に殴られて骨折したなんていえない」と、黙って耐えている場合があります。こうした状態は、睡眠の専門家に診てもらおうべき「病気」です。けつして「奥さんが憎くて」ということではないのです。でも、当事者にはいろいろな思いが交錯して、隠して苦しんでおられる方もいます。どうか勇気をだして、まずは専門家に診てもらってください。

*

きょうは、睡眠時無呼吸症候群の問題についてみなさんともにも考えました。たんに病気を知らただけではなくて、背景にある「眠り」がどういうものなのか、「眠り」をどう判断するのかを、この授業をきっかけに考えてほしいと思います。睡眠障害は、誤解されていることも少なくありません。きょうお話ししたことで、みなさんの家族やまわりの人たちにも、睡眠障害について考えてもらえる重要な機会になればよいと思います。

受講を終えて

「睡眠の授業なので、〈寝てもいいよ〉と学生にいうこともあります」。「寝てもいい授業なんてうらやましい!」と思ったのもつかのま、「ただし、居眠りをする人は、入眠時の身体状態をたしかめる実験台にされるかもしれませんが」と笑いながら釘を差す若村教授。そんな先生のキャラクターもあいまって、生体リズムの実験結果や、最新の研究成果を身近な生活の場面に落としこんで解説する講義スタイルは学生たちの心をとらえ、毎年受講者が殺到する。生活をより良くする数かずのヒントをたくさん受けとり、日ごろの不摂生を反省しつつも、講義室をあとにする足取りは軽くなった気がした。



モノ語る



京大の歴史

国際高等教育院 / 大学院理学研究科
下林典正

地下に埋もれた鉱物標本が 光を放ち語り出すとき

京都大学の創立は二八九七(明治三〇)年。「十全な研究・教育活動には学術標本の収蔵・管理施設が必要」との考えに基づき、創立当初から大学博物館の設置を構想し、一九二四(大正三

年)には日本初の大学博物館として文科大学に陳列館が竣工した。その流れをひく京都大学総合博物館は創設百周年を記念して二〇二四年秋に、企画展「学問の礎を受け継ぐ——文科大学陳列館からの出発」を開催した。隣接する会場では特別展「地の宝——百年を超える眠りからさめる旧制三高・京大帝大時代の秘蔵鉱物コレクション」も同時開催。特別展の主役は、総合博物館地下の第二収蔵庫に保管されている推定数万点の鉱物標本の中から厳選した数百点の標本であった。本稿では、特別展の実行委員長として参画した筆者が、その裏話も交えながら、総合博物館の地下に秘蔵された鉱物標本の現状とその意義を語る。

京都大学総合博物館が所蔵する

鉱物・鉱石標本は、総合博物館の竣工(二〇〇〇年)にもなつて各部署から移管されたものである。その総

点数は、三〜四万点は下らないものと推定される。これらの中から隕石

標本一点のみが常設展示に供されているが、それ以外はすべて地下の

第二収蔵庫に秘蔵されている。また

まった数の鉱物標本が一般に公開されたのは、筆者の知るかぎり、公

益財団法人益富地学会館が毎年春と秋に開催している鉱物の展示会

「石ふしぎ大発見展」で特別展示く

らいである[＊]。それに対して、

昨秋の特別展「地の宝」では、数百点の鉱物標本を一挙に展示

公開し、多くの来場者にご覧いただ

くことができた。

特別展の目玉は、 世界の博物館が垂涎する輝安鉱

第二収蔵庫の鉱物標本の大部分

は工学部からの移管標本で、その多くが一八九八(明治三二)年に開設さ

れた京都帝国大学理工科大学の探

鉱・冶金学科に由来するものである。開設当時の同学科は、探鉱学お

よび冶金学にそれぞれ二講座ずつであった。一九〇九年に探鉱学第三

講座が新設され、学科開設時から採

鉱学第二講座の助教授を務める比

企忠が第三講座に移籍して鉱床学を担当した。

比企は一八九四年に帝国大学(のちに東京帝国大学に改称)理科大

学地質学科を卒業している。当時(実際には少し前)の帝国大学には、

日本人最初の鉱物学の教授となつた和田維四郎[＊]が在任していた。和田

は希代の鉱物収集家でもあり、帝大に鉱物陳列室を設置した。比企がそ

の和田の影響を受けたことは疑う余地がない。比企もまた京都帝大に

鉱物標本室を設置し、当時の著名鉱山にみずから出向いて鉱物・鉱石を

採集したり、業者から購入したりし

て、鉱物・鉱石標本を充実させた。

このコレクションは質・量ともに優れたもので、総点数は一万点以上に達している。とくに特別展「地の

宝」で主役を張った愛媛県市ノ川鉱山産の輝安鉱は、世界中の自然史系

の博物館の垂涎の標本であるが、これだけ大きく美しい結晶や群晶は、

ほかではなかなか目にすることはないだろう。石英の日本式双晶もその

名前のとおり日本を代表する鉱物標本であるが、その日本式双晶をず

らりと並べた展示は圧巻であった。

比企標本を加えて、 日本の四大コレクションに

鉱石標本も、わが国の鉱山の隆盛期に採集されたものが多く、学術的



◎しもばやし・のりまさ

1960年、京都市に生まれる。京都大学大学院理学研究科修士。同大学院理学研究科助教授、准教授などをへて、2013年から現職。研究テーマは造岩鉱物の微細組織の観察・解析ならびに稀産鉱物の記載。現在までに5種類の新鉱物の記載に貢献している

阿野礒石

明治37年4月7日に兵庫県
の阿野村（現在の篠山市）に
落下した鉄礒石（隕鉄）。比企の
迅速な行動により京大が所
有することとなった。その
経緯が「標本の志るべ」にも
詳述されている。写真の手
前が実物で、奥に石膏模型
（これも比企が作製した）が
置かれている



水晶の日本式双晶（山梨県
乙女鉱山産）
石英結晶（水晶）の一つの
双晶タイプであって、日本
特有のものではないが、あ
まりにみごとな標本が日本
から産出したため、この名
称が付けられている。写真
の標本は幅が約23センチ
メートルもあって大型であ
るだけでなく、左右の結晶
のバランスが秀逸である

第三高等学校由来の標本

第三高等学校の鉱物標本は、教育用に
セットもしくは個々に購入したらしきも
のが中心で、そのために当時の標本とし
ては網羅性が高く貴重である。標本に
は朱で「印」が入られていることが多い。
写真は、現在の徳島市眉山産のルチル
の標本である



が挙げられるが、「比企標本」は「和
田標本」にも匹敵するコレクション

部の高壮吉による「高標本」
*に寄贈した「若林標
本」や九州大学工学

林弥一郎が東京大学

ほかに三菱鉱業の若
コレクションとしては、

ほぼ同時代の日本三大
コレクションとして、

あたる明治から大正時代
に収集された鉱物標本と
しては筆頭格であろう。

先述の和田維四郎の収集した
「和田標本」は、日本における
地質学・鉱物学の黎明期に

名前を冠して「○○標本」、「○○
コレクション」とよぶことがある。

と考えている。

に極めて価値が高い。筆者はこれら
の鉱物・鉱石標本を「比企標本」もし
て「比企コレクション」と命名した
ことである。

資会社、岩本鉱物販売所、東京教育
博物館、金石舎などの名前がみられ

標本部、上野製作所、教育品製造合
関わっているようで、標本に付されて

は、比企忠のようなキーパーソンの
姿が浮き出てこない。収集された標
本の多くに関西や関東の標本業者が

用い収集した鉱物標本は三〇〇〇
点ちかくにのぼるが、三高標本で

けを取らない。一八八六（明治一九）年
に設立された第三高等学校が教育

人間学部ならびに人間・環境学研究
科）から移管された鉱物標本も、歴史

的なの貴重さという点ではまったく引
けを取らない。一八八六（明治一九）年

には、旧制第三高等学校からの標本
を引き継いだ旧教養部（現在の総合・

ことである。

である。「比企標本」の存在を世に
知らしめることで、今後は「比企標
本」を加えた四大コレクションとし
て、鉱物標本の世界で並び称される
ことであろう。

た。外国産の標本には、当時の最大
手の標本業者であるドイツのクラ
ンツ社の標本も数百点含まれており、

当時の標本としては網羅性の高い
貴重な鉱物コレクションである。

ほかに農学部からの移管標本も
あり、数百点の小規模なコレクショ
ンであるが、なかには工学部や三高

標本を凌駕するようなみごとな鉱
物標本も含まれている。理学部から

もクラランツ社製の紙製の結晶模型
約五〇〇点がほぼ失われることな
く移管されている。

少し脱線するが、かつてTBS系
列で放送されていた教養バラエティ
番組「飛び出せ！科学くん」の人気

企画の一つに「博物館ツアーズ」があ
った。関係者以外は立ち入ることの
できない博物館の舞台裏に人気芸

人たちが潜入取材する企画だ。その
ときの言葉を借りると、「博物館に展
示されているお宝たちは全体のほ

んの一部。巨大倉庫には、いまかいま
かとお宝を待っているすこい（お宝）
たちがまだまだたくさんいました」

輝安鉱（愛媛県市ノ川鉱山産）

明治後期から大正期に同鉱山から産出した輝
安鉱の結晶は大型かつ美麗で光輝があり、日
本を代表する鉱物の一つとして世界中の有名
博物館に展示されている。京大の総合博物館
が所蔵する標本は保存状態もきわめて良く、
世界的にも最高級の標本である



暗中模索の標本台帳づくりの大役を得て

ということになる。

京都大学の総合博物館でも、数万点の鉱物標本が地下の収蔵庫で出番を待っている。しかし、そのリストは存在せず、正確な数すら把握できていない。各部局から移管を受けた際の標本台帳も存在しない。標本台帳があれば、データベースに機械的に入力することはできる。しかし、元となる標本台帳がなければ、個々の標本そのものと標本に付せられているラベルだけが手ばかりだ。そうなると、鉱物標本のキュレーションにかなり長けた人間でないと整理ができないことになる。

総合博物館には鉱物学を専門とするスタッフや学芸員がいないので、研究協力者という肩書きの筆者に、標本台帳づくりの依頼が来たのだが、筆者にしても鉱物学を専門にしているものの、鉱物標本のキュレーションに長けているわけではない。そこで、地質調査所現・独立行政法人産業技術総合研究所の地質標本館の元館長、豊遠秋氏の協力を仰ぎ、開館直後に試験的に標本の整理とデータベース化を手がけた。それから十年のプランクがあったが、二〇一三年夏から豊氏の全面協力のもとで本格的に再開したところである。

降って湧いた特別展に没頭して見つけたへお宝

二〇一四年の晩春、三高コレクションのリストづくりになんとか見通しがついたころ、突然に特別展「地

の宝」の話がもちあがった。開催はなんと、半年後。それからは、標本の整理・登録の作業に加えて、展示の準備も並行することになり、連日徹夜にちかい状態がつづいた。

担当するからには、手を抜きたくない。特別展には、三高標本よりも大型で見栄えのする工学部標本も合わせて並べたいと思い、工学部標本の整理・登録作業にも前倒しで着手することとなった。その結果、比企忠教授の業績を知ることになり、特別展の主役も三高標本から比企標本へとシフトしていった。

正直なところ、降って湧いた特別展開催を引き受けていなければ、標本整理・登録はもつと進んでいと思うが、特別展の準備の過程で比企教授の業績や人柄に接することができ、比企標本の全貌をつかむことができたので、けっして無駄な回り道ではなかったと、いまになれば言いきれる。とはいえ、比企標本の手引書ともいえる「標本の志るべ」の意義に気づいたのが開展の一か月前であったり、輝安鉱や石英の日本式双晶に並ぶ展示の目玉であった「岡野隕石」が見つかったのが一週間前であったりと、まさにドタバタ状態で開展にこぎ着けることができた。

開展中もほぼ毎日のように説明パネルを修正したり、展示品を差し替えたりと、最後までバタバタしていた。それでもなんとか好評のうち特別展の幕を閉じ、昨年末からまた標本の整理・登録作業を再開した。

特別展「地の宝」会場風景

中央に展示ケースを環状に配して鉱物標本を分類別に展示した。左奥の二つの大型ケースには、それぞれに輝安鉱と日本式双晶のみを贅沢に勢揃いさせた。右の壁際には当時に作成された地質図を掲げ、日本の鉱山から産した鉱石鉱物を展示した



*

三高標本と比企標本は、ようやく膨大なコレクションの全貌が明らかになりつつある。二〇一五年度内には三高標本の目録の発行を予定しており、来年度以降には比企標本を中心とする工学部標本の目録作成をめざしたい。ただし、ほかにも農学部から移管された鉱物標本や理学部の地質学鉱物学教室からの結晶模型などもあり、それらを含めた鉱物関連の標本・資料の全貌を明らかにするには、まだまだ多大な時間がかかることだろう。

筆者としては、ようやく陽の目を見つつある標本たちをまた埋もれさせられるわけにもいかず、できれば来年度以降も引き続き研究協力者に委嘱いただき、総合博物館の鉱物標本に関わりつつきたいと願っている。

比企忠と鉱物標本

比企 忠(ひき・ただす、1866-1927)

京都帝国大学理工科大学探鉱冶金学専攻探鉱学第三講座の初代教授。日本屈指の鉱物標本室を整備して教育に活用。1926年の定年退職の翌年に急逝するが、その病床で鉱物標本の行く末を案じて「標本の志るべ」なる手引書を書き遺して、後進に管理を託した。その一人が、同教室の助教授の上治寅次郎(1890-1963)である。上治は理学部の地質学鉱物学専攻の第一期生で、前年に探鉱冶金学専攻に赴任したばかりであったが、比企の信任が厚かったと思われる。なお、特別展「地の宝」は、上治が創設した財団法人地下資源研究所の解散にともなって総合博物館に寄託された基金によって実現された。



1920年代末ころの鉱物標本室の風景。写真中央の壁上部には比企博士の肖像が飾られていて、死後も標本を見守っていた



標本の志るべ
鉱物標本室の見取り図から始まって、各戸棚や列品箱に収めてある標本の由来や希望などが、紙紙26枚に綿々と書かれている。まさに「比企標本」のバイブルといえる

- *1 公益財団法人益富地学会館は、1973年に益富壽之助(ますとみ・かずのすけ、1901-1993)博士によって「日本地質研究会」として創設され、1991年に財団法人化し、「益富地学会館」に名称変更、2012年に公益財団法人に移行した。鉱物、化石、岩石研究のメッカとして、年間1万人の来館者を迎える。毎年、春(大阪)と秋(京都)にミネラルショー「石ふしぎ大発見展」を開催し、そのうち2003年秋、2013年秋、2014年春の計三回の特別展示で京大総合博物館に秘蔵された鉱物標本を特別公開した。昨秋の特別展「地の宝」でも多大な協力を賜った。
- *2 和田維四郎(わだ・つなしろ、1856-1920)は小浜藩士の三男として生まれた。鉱物学者、書誌学者、貴族院議員。日本人の初代教授として帝大(東京大学)理学部鉱物学教室の基礎を築いた。帝大在任中も地質調査所の初代所長などを兼務し、1891年に東京大学教授を辞任してからは官界入りして日本の製鉄業の振興に努め、晩年近くには貴族院議員に勅擧げられた。開成学校助教を皮切りに、東京大学助教授・教授、地質調査所長、鉱山局長、官営製鉄所長官と職を転じたが、鉱物収集だけは終生変えなかった。とくに1902年に官界を去ったあとは、ふたたび鉱物学の研究に専念し、日本の近代鉱物学の創始者として、その基礎を固めた。「日本鉱物誌」(1904年)や「本邦鉱物標本」(1907年)を著し、日本における記載鉱物学の基礎を確立した。両書に記載された約1100種の総覧標本を中心とした「和田鉱物標本」は、総数4000点を越え、20世紀初期の鉱物標本コレクションとしては日本最大のものとされる。
- *3 若林標本。三菱鉱業の若林弥一郎(わかばやし・やいぢろう、1874-1943)博士が収集した182種1932点(約1200点の未分類の試料を除く)におよぶ、日本、朝鮮、中国を主な産地とする鉱物コレクションで、のちに東京大学に寄贈された。当時のアマチュアの個人コレクションとしては世界一級を誇る。
- *4 高辻吉鉱物標本(高標本)。九州大学工学部探鉱学教室の高辻吉(こう・そうきち、1869-1946)教授が1890年代から1930年代にかけて蒐集した約1200個の標本。産地は日本全土におよび、とくに九州の金属鉱山の産出鉱物にみごとなものが多い。標本は大型で雄大な豪華なことが特徴。
- *5 理学部の鉱物標本は理学部の学部教育に活用するために、総合博物館には移管せず、地質学鉱物学教室の標本室に所蔵し、筆者が管理している。

京都大学を ささえる人びと

人文科学研究所
附属東アジア人文情報学研究中心

事務掛長 秋本好治

事務掛主任 村田康彦

東洋学に関する文献や資料を収集・整理し、研究に役だてることを目的に人文科学研究所の附属施設として1965年に開設された東洋学文献センター。欧米での文献のデジタル化の流れをうけて、所蔵資料のデータベース化を推進すべく、2000年に漢字情報研究センターに改組。さらに2009年には、人文学と情報学を融合させた文献・情報センターをめざし、現在の東アジア人文情報学研究中心に改組された。京大が誇る人文研の東アジアの史料・文献・目録を後世に伝えるべく尽力する秋本好治さんと村田康彦さんを訪ねた

◎あきもと・こうじ

1960年、兵庫県に生まれる。1984年に関西学院大学法学部を卒業。1983年国家公務員中級行政職、1986年国家公務員Ⅱ種図書館学資格取得。滋賀医科大学などでの勤務を経て、2012年から現職。

◎むらた・やすひこ

1957年、京都市に生まれる。1980年に神戸大学法学部を卒業。徳島大学附属図書館、神戸大学附属図書館を経て、1993年から現職。

*五部分類法 中国の伝統的な書籍分類法である四部分類法を基本にした人文研独自の分類法。経学・史学・諸子・詩文の書物を取り、経・史・子・集の四部のほか、各部にわたる書物を取り入れる叢書部を置く。

つさを秋本さんは説く。「ここにくれば現物が集結している」という安心感も研究をささえる一翼になると信じています。

「データベース検索は完全とはいえません」と村田さんは脆弱性を穏やかに口調で指摘する。「ピンポイントで検索できるスピードはメリットですが、目的が明確でないとき必要な論文にたどりつけません。冊子なら、目的の論文を探しながら、たまたま見つけた論文に知的好奇心をくすぐられることもあるはず。研究成果の記録を後世に伝える点からいえば、データベースでは、予算や人員がつかなくなると蓄積されたすべてのデータが利用不能になりかねません。」

蔵書の対象となる本の基準は骨董的な価値ではなく、学問的に価値のあるもの。狩野直喜東方文化学院京都研究所初代所長が設立時に定めた方針がいまも受け継がれている。近ごろ、人文系の学部を減らそうとする声が強がしい。日本の人文学研究を牽引しつづける人文研とその財産を次世代につなげるという使命が、二人の目には静かに宿っている。

*

世界文化の総合研究を目的に発足した人文科学研究所(人文研)。一九四九年に東方文化研究所、西洋文化研究所、旧・人文科学研究所の三つの研究所を統合。異分野の研究者がフィールドワークや討論をとおして共通の課題にアプローチし、多くの業績を重ねてきた。いまでは主流となった学際研究や文理融合のさきがけだ。戦後には桑原武夫、今西錦司、貝塚茂樹などが集い、独創的な共同研究に挑んだ人文研は、新京都学派とよばれた彼らの拠点として知られることになった。

東アジアの史料情報の要

人文研が所蔵する六〇万冊のうち、中国に関する三四万冊の書物をかかえ、東アジア研究の史料や情報の収集を一手に引き上げるのが東アジア人文情報学研究中心。「このセンターが漢籍研究の分野を率いている自負があります」と秋本好治さんは語る。

漢籍とは、一九二一年以前に中国人が中国語をもちいて著した書籍のこと。センターでは、通常の図書館で使用される図書分類法ではなく、唐の時代から中国で二〇〇年以上つづ

く分類法をもとにした五部分類法で配架される。書庫は地下をふくめて四階ぶん。「漢籍一〇万冊を収蔵できるように」との注文にこたえて設計された二階から四階は吹き抜け構造で、天窓と床板にはめこまれたガラスからふりそそぐ光は、まるで雲間からこぼれる薄明光線のように。「本の保存環境には気をつけています。吹き抜けは温度管理がむずかしいのですが、本が傷まないことが最優先」。

住宅街にたえず 中国学研究のシンボル

門のそばに育つ三本のシロロ、北

白川の閑静な住宅街でひととき目をひくスパニッシュ様式の白亜の洋館

は、東畑謙三の設計で、一九三〇年に竣工された。文化庁の登録有形文化財に指定され、基本は非公開である。歴史ある建物ゆえに、メンテナンスはひと苦労。「二〇一二年の耐震



吹き抜けの書庫に 蓄えられた 東方学の智

改修工事では、できる範囲で竣工当時のものと同等の建材をそろえました。そうした努力の甲斐あって、現在も風雅なすがたでたたずんでいる。

書物が一堂に集結する信頼感

各年度に発行された東洋学関係の論文と研究書を分類し、『東洋学文献目録』の一冊にまとめて発行するのでもセンターのおもな業務の一つ。東方文化研究所の前身である東方文化学院京都研究所の設立当初の一九三五年から現在まで、八〇年間つづくこの編集作業にとりくむのが村田康彦さん。一年あたり二万件ちかい数の論文をジャンル、地域、時代別に分類し、配列する。甲骨文字がつかわれる論文があれば、甲骨文字を手作業で作成してデータにおとしこむ。「この作業を二三年間つづけてきました」と語る村田さんの目は誇らしげだ。

デジタル化の波にのって、デジタル・テキストや所蔵資料のデータベース化にも熱心に取り組む。「冊子はいらな」という声も聞こえてくるなか、図書館員として長年にわたり書物にふれてきたお二人の考えは共通して「つづけるべき」。現物にあたるたいせ



村田康彦さん



秋本好治さん



オリンピックオーク後継樹 植樹記念式典を挙行

陸上競技部 OB・OG 会(蒼穹会)は4月29日(水・祝日)、北部グラウンドにて、オリンピックオーク後継樹植樹記念式典を行いました。1936年のベルリンオリンピック陸上競技男子三段跳びで陸上競技部OBの田島直人氏が優勝したさいに主催者からヨーロッパナラ(ブナ科コナラ属)の苗が記念に贈られました。これを北部構内の理学部植物園で育て、のちに北部グラウンドに移植し、オリンピックオークと称されましたが、2008年夏にナラ枯れで枯死し、伐採されました。

このオリンピックオークの萌芽から採取して育てられたとされる個体が北部構内の北白川試験地に2本あり、遺伝子解析の結果、枯死した個体と同じ遺伝子をもつことが確認されました。2015年2月に、このうちの1本を初代の木が植えられた場所に移植したほか、もう一個体の種子から発芽した実生も、同地に移植されました。

式典には現役陸上競技部員、OB・OGら約100名が出席し、田島氏の長女の小池和子さまから「オリンピックオークを通じて再び父の存在を若い人に知ってもらえてうれしい」と挨拶があり、現役部員からは「先輩の偉業を思い起こし、高い目標を持ってがんばりたい」という声が寄せられました。

赤崎勇博士に名誉博士の 称号を授与



5月15日(金)に百周年時計台記念館迎賓室にて、赤崎勇博士(1952年本学理学部化学科卒業。名城大学終身教授、名古屋大学特別教授・名誉教授)への名誉博士称号授与式を行いました。同博士の青色LEDの研究とその実現に果たした多大な功績が学術文化に寄与した功績がとくに顕著であるとして、山極壽一総長から名誉博士記と名誉博士称号の証となるカラーコードが授与されました。

授与式後には、「青色発光と私」と題して同博士の記念講演が行なわれました。「私が京都大学に入学した1949年は、湯川秀樹博士がノーベル賞を受賞した年。そのニュースを聞いて、近衛通のプラタナスの道を歩きながら、なにか小さいことでもいいから誰もやったことのないことをいつか自分もやろうと決心し、それがのちの青色LEDの研究につながった」と語られました。

京都

大学の

News
&
Information

動き

生存圏研究所のMULレーダーが IEEEマイルストーンに認定

MULレーダー(Middle and Upper Atmosphere Radar)は、滋賀県甲賀郡信楽町(現甲賀市)に1984年に設置されたアジア域最大級の気象観測用大型レーダーです。アクティブ・フェーズドアレイシステムを用いた世界初の大規模気象レーダーで、気象科学やレーダー技術の発展に貢献したことにより、IEEE(The Institute of Electrical and Electronics Engineers)マイルストーンに認定されました。1983年に創設されたこのIEEEマイルストーン制度は、電気・電子・情報・通信分野において、開発から少なくとも25年以上経過し、地域社会や産業の発展に多大な貢献をしたと認定される歴史的業績を表彰するもの。日本からは東海道新幹線などが認定され、MULレーダーは本学からは初の栄誉となります。

5月13日(水)に芝蘭会館で記念式典が開催され、約120名の列席のもとに行なわれた贈呈式で、Howard E. Michel IEEE 本部長から山極壽一総長と柵山正樹三菱電機株式会社執行役社長に銘板が贈呈されました。その後、信楽MU観測所に移動し、約80名が見守るなか、IEEEマイルストーン銘板の除幕式が執り行なわれました。



京都大学基金事務局より

京都大学基金では、ご寄付をいただいた方がたへの謝意を表するため各種顕彰を行なっています。7月27日(月)、一定額以上のご寄付をいただいた方がたをお招きして「感謝の集い」を開催し、多くの参加をいただきました。

第一部の大学施設見学は2コースを用意。Aコースは「尊攘堂」と「附属図書館」を、Bコースは「湯川記念館」と「東アジア人文情報学センター」を、本学教職員による案内と解説で巡り、参加者たちは貴重な資料や美しい建物を興味深げに見入っていました。

第二部は、山極壽一総長が「グローバルリーダーの条件をゴリラから学ぶ」と題して講演し、続いて徳賀芳弘副学長事務代理が京都大学基金の活動について報告しました。

懇親会では、総長をはじめ全理事が参加者を迎え、和やかに歓談。参加者からは「総長講演が聴けてよかった」、「京都大学の人材育成、研究に期待している」といった声が多く

聞かれました。

*

感謝の集いは、本学をご支援いただいている方がたの貴重なご意見をうかがう場であると同時に、本学の指針や基金の活用計画を示す場でもあります。京大のビジョンをみなさまに厳しく評価いただきながら、京都大学基金は本学のさらなる発展を支えていきます。

【お問い合わせ先】

京都大学基金事務局

TEL : 075-753-2210

<http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp>



山極総長による講演会のようす



ホームページに特設サイト 「探検！京都大学」を開設

中・高校生、一般の方向けに京都大学ならではの知的ワールドを紹介する新しいエンターテインメントサイト「探検！京都大学」を、4月2日(木)に公式ホームページ内に開設しました。

本サイトでは、本学が創立以来だいたいしてきた「フィールドワーク」のスタイルで、「惑星、京都大学」をバーチャルに探検しながら、これまで伝えきれなかった京都大学の全体像、ユニークな研究内容や研究者をわかりやすく、楽しく理解できます。見どころは、本学の卓越した個性に出会える「京大先生図鑑」や、大学の規模や研究の広がりなどをデータから紐解く「京大データ」、本学にゆかりのあるノーベル賞受賞者の生い立ちと、心に残るメッセージを紹介する「ノーベル賞受賞者のメッセージ」などで、いずれもコミカルなイラストやアニメーションを駆使しながら、知的フィールドワーク体験を楽しめます。 <http://www.kyoto-u.ac.jp/explore/>

全学共通科目(2015年度前期) 「生物学のフロンティア」で リレー講義

本講義は、阿形清和理学研究科教授および高橋淑子助教が中心となって企画した新たな試みです。山極壽一総長をはじめ、山中伸弥iPS細胞研究所長、森和俊理学研究科教授など、第一線で活躍する26名の研究者たちが、新入生を対象にリレー講義を行ないました。

阿形教授は、「単位のために講義を受けるという風潮が身につくまえに、『京大に入るとこんなワクワクした講義を受けられるんだ。やはり高校の講義とは違う』と感じられる講義を提供することで、『おもしろいと思ったら自分で勉強する』心に火をつけたい。文系を含む多くの学生に楽しんでもらえた」と、京大の新たな試みの手応えを語りました。



編集後記

ローラスケートは、私の世代ではある時期とても流行った遊びの一つですが、「後頭部を打つとあぶないから」と両親に説かれて以降、自分とは縁がないものと思っていました。四十を過ぎ、さしたる趣味ももたず体力が静かに落ちていくのを感じるにつれ、自分が苦手なものや経験のないことを趣味にしようと目標を立てました。

木目が美しいメイプル材の高級スケートボードに乗ったり、いろいろなことを試しているとき、一冊の本をとおしてロードバイクを知りました。たかが自転車なのですが、やってみると、家に始まり家で終わる手軽さ、スピード感と距離感からくる爽快感と達成感は特別な場所を必要とするスポーツにはない魅力でした。くわえて、自転車自体のマニアックなメカニクスも自称理系男子には楽しいものでした。一冊の本ですが、凝縮された経験が文書化されたもののもつ力は偉大でした。

公道を走ると、自転車の乗り手の意識が気になります。過去には車道から追い出されて歩道へと移った経緯があるので、左側通行の車道に戻された今も歩行者感覚のままの方も少なくありません。右に曲がる予定があると、路肩を逆走するのがいい例ですね。

電動アシストなど、装備は高性能化し、自転車自体は重くなる一方、運転は軽快でスピードもですから、もしものときは大きな事故にもなりかねません。車両と歩行者の安心かつスムーズな住み分けを実践する街をめざし、世界一と評された観光都市の名に恥じないよう、行政と市民が連携した新しいシステムづくりに一歩踏み出す必要がありそうです。『紅萌』を読むたびに、京都から発信できることが湧いてきます。

2015年9月
広報委員会「紅萌」編集専門部会

京都大学同窓会だより

第10回京都大学 ホームカミングデイの開催

今秋11月7日(土)の第10回京都大学ホームカミングデイは、「心」をテーマに開催します。

当日は、講演会のほか、学生によるお点前(裏千家解説)および観世流・能「舞囃子 船弁慶」の披露などのイベントを実施。時計台記念館の前庭では、屋台が多数出店します。ご家族・ご友人をお誘いあわせのうえご参加ください。

なお、イベントの具体的な内容は京都大学同窓会ホームページをご覧ください。
(<http://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/>)



京都大学同窓会への入会

●2015年6月26日入会

京都大学理学研究科・理学部数学教室同窓会(同年6月6日設立)

京都大学理学研究科・理学部(数学)の卒業(修了)生等による会です。

●2015年7月15日入会

台湾吉田会(2014年10月29日設立)

台湾に駐在または留学している京都大学の卒業(修了)生による会です。

●2015年7月23日入会

京都大学会計会(同年6月13日設立)

公認会計士、税理士の資格を有する京都大学の学部または大学院に籍を置いた者の会です。



愛知京大

第2回愛知京大

7月24日(金)に名古屋市内のホテルで開催された第2回愛知京大には、約200名の参加がありました。山極壽一総長による講演や会員のスピーチなどがあり、各テーブルでは普話に花が咲き、大いに盛り上がりしました。

追憶の京大逍遥 ● 豊潤な時間が育んでくれたもの

わたしたちが、一九六五年に入學したころは、かつての教養部にはまだまだ旧制三高時代の木造の建物が残っており、語学の授業を漆喰塗の教室で受けた覚えがある。

所属した文学部一組のクラス討論はけっこう活発で、田舎出のわたしは、才気溢れる提案があったり、予想外の観点からの反論があったりするなかで、いかにも経験深そうな年長格の人が全体を取り仕切っていく経過をただ観察していただけだった。そのくせ、夏休みになると郷里で高校の同級生たちと徹夜で議論するようになったのだから不思議なものだ。

この一組の同級生たちにはほかにもお世話になった。一回生の晩秋ころから体調を崩して後期試験前によくよく復帰したのだが、なぜか体育の授業の出席日数が足りていたのだ。訊くと、代返したよということだった。

難解な講義をひたすら筆記する

おかげで、二回生には文学部での「美学概論」を受講する余裕もできた。じつは、高校時代に井島勉教授の文章との

出会いもあって、大学に入る前から美学を専攻しようということに密かに決めていた。先生の講義は、初心者にはとても理解が届きそうにもないものだったが、それをただひたすらノートに筆記することに充実感があつた。

場所は、これも今はない、文学部旧館一階の講義室、ひんやりした空気の漂う風格のある部屋。冬になると石炭ストーブがたかれ、火が弱くなるたびに助手が石炭を注ぎ込むのだが、その姿がいかにもかいがいしかった。

「矛盾しあう事実」にひかれて

専門に進学すると、哲学科なので哲学概論を始め、哲学史の概論等をこまめに受講した。なかでも山田晶教授の中世哲学史は、その年度は耳慣れない「グノーシス主義」がテーマで、そのあまりに濃密な内容に圧倒され続けていただけだったが、それが、その後、自分のウィリアム・ブレイク研究において、この詩人への異教的神秘思想の影響を理解する助けになった。その一方で美学の学生なら当たり前の、カントの読書会にも参加したのだが、

1967年3月 専門への進級を記念して、文学部1組一同。後列左から8番めが私



1971年12月 美術史演習(中宮寺にて) 清水善三助教に引率されて。下から2列目右端が私



潮江宏三

京都市美術館長



◎しおえ・こうぞう
1947年1月3日に香川県に生まれる。1969年に京都府立文学部哲学科美学美術史専攻卒業。1974年に同大学研究科博士課程を終了。京都市立芸術大学美術学部助手に採用。1994年に教授。2007年から京都市立芸術大学長、2011年から京都市美術館長。2012年に京都市立芸術大学を定年で退任。専門はヒリヤード、ブレイク、カンスタブル、ターナーなどイギリスを中心とした西欧の近世・近代美術。

その経過のなかで、哲学の整然たる概念体系より、整理されていない矛盾しあう事実を相手にする美術史という学問の方にだんだん心がひかれるという変化が生じてきた。

その背景には、毎週火曜日に行われていた、寺社等を訪れて美術品を实地見学する美術史演習での経験が大きい。そのころはまだのんびりとした時代で、受け入れてくれるお寺では、襖絵の前で長時間過ごすことができた。その折に、作品の前で議論する先輩たちの話を聞きながら、自分なりに確認しつつ過ごす、たっぷりした時間は至福の時だった。

せっかくながら美学をせず、また、そうした至福を感じながらも、そこでも専門については天邪鬼な選択をした。むしろ、なじみも知識も少ない西洋美術史の方が、おもしろそうに感じたのだ。その当時は、京大には西洋美術史専門の先生もいなかったのだから。独りで秘密に分け入ることの方に胸をときめかした。

目と耳を肥やし、言語化する訓練

その後の大学紛争時代に入る前までの京大文学部には、まだまだこうした牧歌的な雰囲気があった。逆に、大学院生時代はまったくの紛争時代であり、専門の分野で積むべき経験を上げられる機会もなく、心が揺れながらもただただ文献を読むだけだった。そんな時期でも、美術史演習は続けられており、目と耳を肥やし、それを言語化する訓練をする機会はずつぱりと恵んでくれた。

博士課程を終えて京都市立芸術大学美術学部という制作の現場に奉職することになった。そうした時間が形成してくれたものが大きな力となった。見て感じているものを正確に伝達できなければ、まがりなりにも信賴を得てくれたのは、師や諸先輩たちが提供してくれたそうした経験の賜物であったと改めて思う。

*1 いじま とも (一九〇八・一九七八) 美学専攻、京大大学院名譽教授 (一九七一年から一九七七年まで京都市美術館長)
*2 やまだ あきら (一九三二・二〇〇八) 哲学者、京大大学院名譽教授、専門は西洋中世哲学

アンケートに答えると「京大野帳」が当たる!

スマートフォン、タブレットPC、パソコンで下記のQRコードを読み取り(もしくはURLを入力し)、専用フォームにアクセスするか、本誌裏表紙の奥付に記載の発行所宛に、郵送、FAXまたはメールで、下記項目について記入してお送りください。ご協力いただいた方の中から、抽選で30名様に「京大野帳」をプレゼントします。プレゼントの締め切りは2016年3月10日(木)です。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

- 問1 本誌の入手場所
- 問2 関心をもった記事
- 問3 ご意見・ご感想
- 問4 年齢・職業(学年)
- プレゼントに応募の場合
- 問5 氏名・住所

URL <http://www.pr.kyoto-u.ac.jp/ja/issue/kurenai/enquete>



京都大学広報誌
系エ 萌 第28号
2015(平成27)年9月25日発行

編集 ● 京都大学広報委員会
[紅萌] 編集専門部会
発行 ● 京都大学
企画・情報部 広報課
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL 075-753-2070
FAX 075-753-2094
URL <http://www.kyoto-u.ac.jp/>
E-mail kurenai@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

制作協力 ● 京都通信社
デザイン ● em-en design

「紅萌」の既刊号は、次のURLで閲覧できます。
<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/public/issue/kurenai/>

©2015 京都大学
(本誌記事の無断転載・放送を禁じます)